

2025年3月期 決算説明会資料

株式会社オービックビジネスコンサルタント（証券コード：4733）

2025年4月23日

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。



Index

1.	2025年3月期 年度決算の概況	P. 2
2.	2025年3月期 第4四半期 主要な指標	P. 9
3.	2026年3月期 事業計画	P. 17
4.	2026年3月期 事業戦略	P. 21
	Appendix	P. 37

1. 2025年3月期 年度決算の概況



損益計算書

(百万円)	24/3期		25/3期 計画	25/3期		対前年同期		売上高	◆ 売上高 5,029百万円増（対前年12.0%増）
	構成比(%)			構成比(%)	増減額	増減率(%)			
売上高	41,954	100.0	48,000	46,984	100.0	5,029	12.0	売上 総利益	◆ 売上総利益 4,996百万円増（対前年14.5%増） ◆ 売上高全体の中で相対的に利益率が高いソリューション売上高が占める構成比率が、52.3%から58.9%へと伸長した影響等から、売上総利益率が1.8ポイント良化
売上総利益	34,341	81.9	39,319	39,337	83.7	4,996	14.5		
販売管理費	15,593	37.2	17,819	17,593	37.4	1,999	12.8		
営業利益	18,748	44.7	21,500	21,744	46.3	2,996	16.0	営業 利益	◆ 販売管理費 1,999百万円増（対前年12.8%増） ◆ 営業利益 2,996百万円増（対前年16.0%増）
営業外損益	1,121	2.7	900	1,300	2.8	179	16.0	経常 利益	◆ 受取配当金 1,183百万円（前期1,058百万円）
経常利益	19,869	47.4	22,400	23,044	49.0	3,175	16.0		
当期純利益	13,841	33.0	15,704	16,182	34.4	2,341	16.9	当期 利益	◆ 投資有価証券売却益（特別利益） 229百万円（前期は投資有価証券売却益は該当なし）

売上高の品目別内訳

(百万円)	24/3期		25/3期 計画	25/3期		
	構成比(%)			構成比(%) 前期比(%)		
ソリューション	21,944	52.3	28,335	27,680	58.9	26.1
クラウド	19,001	45.3		25,943	55.2	36.5
基幹業務クラウド (SaaS, IaaS)	11,824	28.2		17,219	36.7	45.6
奉行クラウドEdge	7,177	17.1		8,723	18.6	21.5
オンプレミス (基幹業務システム)	2,942	7.0		1,736	3.7	△41.0
関連製品	3,790	9.0	3,942	4,191	8.9	10.6
サービス	16,219	38.7	15,723	15,112	32.2	△6.8
オンプレミス保守	12,619	30.1		12,318	26.2	△2.4
その他 (インスト指導等)	3,599	8.6		2,794	5.9	△22.4
合計	41,954	100.0	48,000	46,984	100.0	12.0

対前年同期比の主な内容

■ ソリューション

- ✓ クラウド製品売上が増加
 - ・ DXニーズの高まりを背景とした中堅・中小企業のクラウドシフトの動きから、基幹業務クラウド、奉行クラウドEdgeともに前期来の新規受注が積上り増加
 - ・ 前期より、高単価製品（奉行クラウドDX suite）の売上が徐々に伸長
- ✓ オンプレミス製品売上が減少
 - ・ 奉行10シリーズのサポート終了（'24.12月末）によるバージョンアップの受注が収束

■ 関連製品

- ✓ 奉行連動ソリューションの売上が168百万円増加。
- ✓ 一方ペース化傾向によりサブライ製品売上は66百万円減少

■ サービス

- ✓ オンプレミス奉行製品継続ユーザー様の奉行クラウド製品への切替等を背景として、奉行保守契約売上が217百万円減少
- ✓ 前期は法改正特需による新規ユーザー増に伴いインストラクター指導が逼迫も当期は緩和。指導料売上810百万円減少

基幹業務システム新規受注数量（バージョンアップ含む）

(単位：本)		24/3期		25/3期		
		3Q	4Q	3Q	4Q	QonQ(%)
SaaS	(奉行クラウド i、奉行クラウドV ERP、 奉行クラウド DX Suite※1)	5,686	5,671	4,242	3,471	△18.2
IaaS	(奉行11クラウド、OBCクラウドサービス、 奉行V ERP Smart)	421	368	186	111	△40.3
クラウド計		6,107	6,039	4,428	3,582	△19.1
中堅・上場企業向け	奉行V ERP	200	187	64	15	△76.6
中小企業向け	奉行 i Network Edition	580	581	261	77	△70.5
	奉行 i Standalone	1,205	910	570	286	△49.8
小規模事業者向け	奉行 J	149	88	58	37	△36.2
オンプレミス計		2,134	1,766	953	415	△56.5
クラウド、オンプレミス合計		8,241	7,805	5,381	3,997	△25.7

【お知らせ】
次回以降、左表「基幹業務システム新規受注数量」報告は、「稼働システム数量」（本資料10ページ）に替えさせていただきます。

【参考】ソリューション別平均単価

クラウド※2		オンプレミス※3	
SaaS 奉行クラウド i	21.9万円/年	奉行 i 11	29.7万円
SaaS 奉行クラウド V ERP	96.3万円/年	奉行 V ERP11	41.7万円
SaaS 奉行クラウド DX Suite	115.0万円/年		
IaaS 奉行11クラウド、OBCクラウド、奉行V ERP Smart	92.5万円/年		
SaaS 奉行クラウドEdge	15.8万円/年		

※1：奉行クラウド DX Suiteは1セットを1本としてカウントしています。
※2：クラウドサービスの平均単価は25年3月末のARR÷12月末契約数×12で算出。
継続契約における年額ベースの金額。
※3：オンプレ製品の平均単価は24年4月～25年3月の受注金額÷受注数量で算出。
製品出荷時に計上される一時収益の金額。

販売費及び一般管理費の内訳

(百万円)	24/3期		25/3期		
	構成比(%)		構成比(%)	前期比(%)	
売上高	41,954	100.0	46,984	100.0	12.0
販売費及び一般管理費	15,593	37.2	17,593	37.4	12.8
販管人件費	4,847	11.6	5,360	11.4	10.6
研究開発費	3,701	8.8	4,059	8.6	9.7
広告宣伝費	2,205	5.3	2,557	5.4	15.9
地代家賃	734	1.7	774	1.6	5.5
減価償却費	356	0.9	300	0.6	△ 15.9
その他経費	3,748	8.9	4,541	9.7	21.2

対前期比の主な内容

- 販管人件費、研究開発費
 - ✓ 人員増('24年4月新卒採用84名)に加え、給与のベースアップ改訂・残業単価の見直し等により、人件費が増加
- 広告宣伝費
 - ✓ 奉行ｸｳｵｰﾄﾞのﾌﾞﾗﾝﾄﾞ浸透に向け、TVCM、ﾈｯﾄ広告を戦略的に強化を継続
- その他経費
 - ✓ 過年度支払手数料計上430百万円
 - ✓ 販売促進費が104百万円増加

貸借対照表

(百万円)	24/3末	25/3末	増減額		24/3末	25/3末	増減額
流動資産	164,754	173,676	8,922	負債	48,912	49,648	736
現金預金	151,601	161,057	9,456	買掛金	449	362	△ 87
受取手形	3,713	3,013	△ 700	未払金	2,323	1,803	△ 519
売掛金	9,075	8,975	△ 99	未払法人税等	4,011	4,443	431
棚卸資産	132	73	△ 59	前受収益	33,492	33,637	145
その他	240	563	322	退職給付引当金	3,346	3,406	59
貸倒引当金	△ 9	△ 7	2	その他	5,288	5,995	706
固定資産	33,052	34,962	1,909	純資産	148,894	158,990	10,095
有形固定資産	1,229	1,217	△ 12	資本金	10,519	10,519	0
無形固定資産	1,228	1,271	43	資本剰余金	18,438	18,450	12
投資その他の資産	30,594	32,473	1,878	利益剰余金	107,443	116,484	9,041
資産合計	197,806	208,638	10,831	有価証券評価差額金	12,717	13,757	1,040
				自己株式	△ 222	△ 221	1
				負債・純資産	197,806	208,638	10,831

キャッシュ・フロー サマリー

(百万円)	24/3	25/3	主な内訳項目
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,259	17,670	税引前利益 23,273
			減価償却費 534
			売上債権増加額 799
			前受収益増加額 145
			法人税等支払額 △ 6,962
			その他 △ 120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 850	△ 1,072	投資有価証券の売却等 231
			有形固定資産の取得 △ 330
			無形固定資産の取得 △ 853
			その他 △ 120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,262	△ 7,141	配当金支払い △ 7,141
現金及び現金同等物の増加額	17,147	9,456	
現金及び現金同等物期首残高	134,444	151,591	
現金及び現金同等物期末残高	151,591	161,047	

2. 2025年3月期 第4四半期 主要な指標

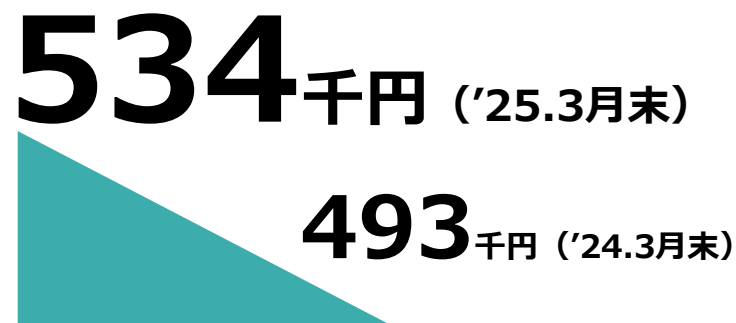


主要な指標

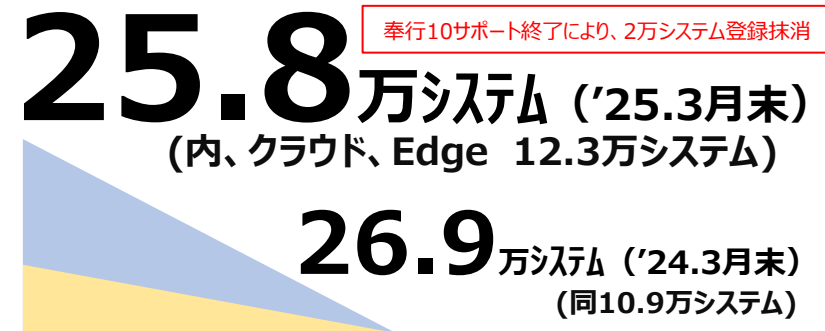
ARR※1



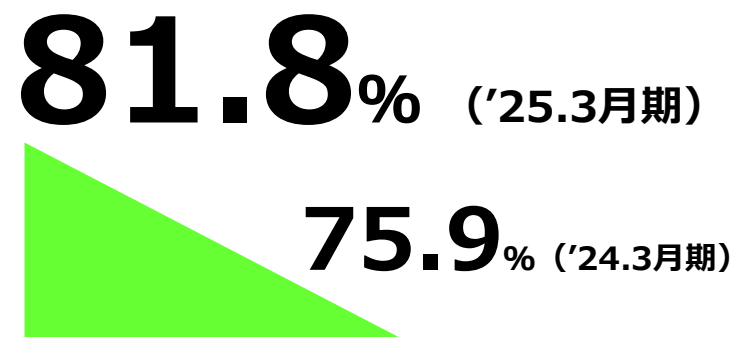
クラウドARPU※2



稼働システム数※3



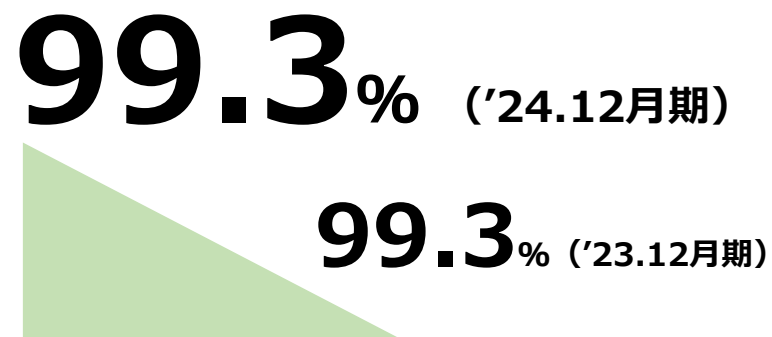
継続収益比率※4



前受収益残高



契約継続率※5



※1：ARR（Annual Recurring Revenue）＝ 各四半期末月のMRRの12倍で計算。

MRR（Monthly Recurring Revenue）＝ 月額継続収益（契約により一定期間にわたり計上される売上、すなわち、「ソリューション(利用料型)」及び「オンプレミス保守」の月額売上金額の合計）。

※2：ARPU（Average Revenue Per User）＝ クラウド（SaaS、IaaS、奉行クラウドEdge）を利用している企業の1企業あたり月額平均単価の12倍で計算。

※3：稼働システム数は、単数もしくは複数のライセンスを1つの単位として納入したシステムを1単位とした数。

※4：継続収益（「ソリューション(利用料型)」及び「オンプレミス保守」の月額売上高の合計）を全社売上高で除して算出。

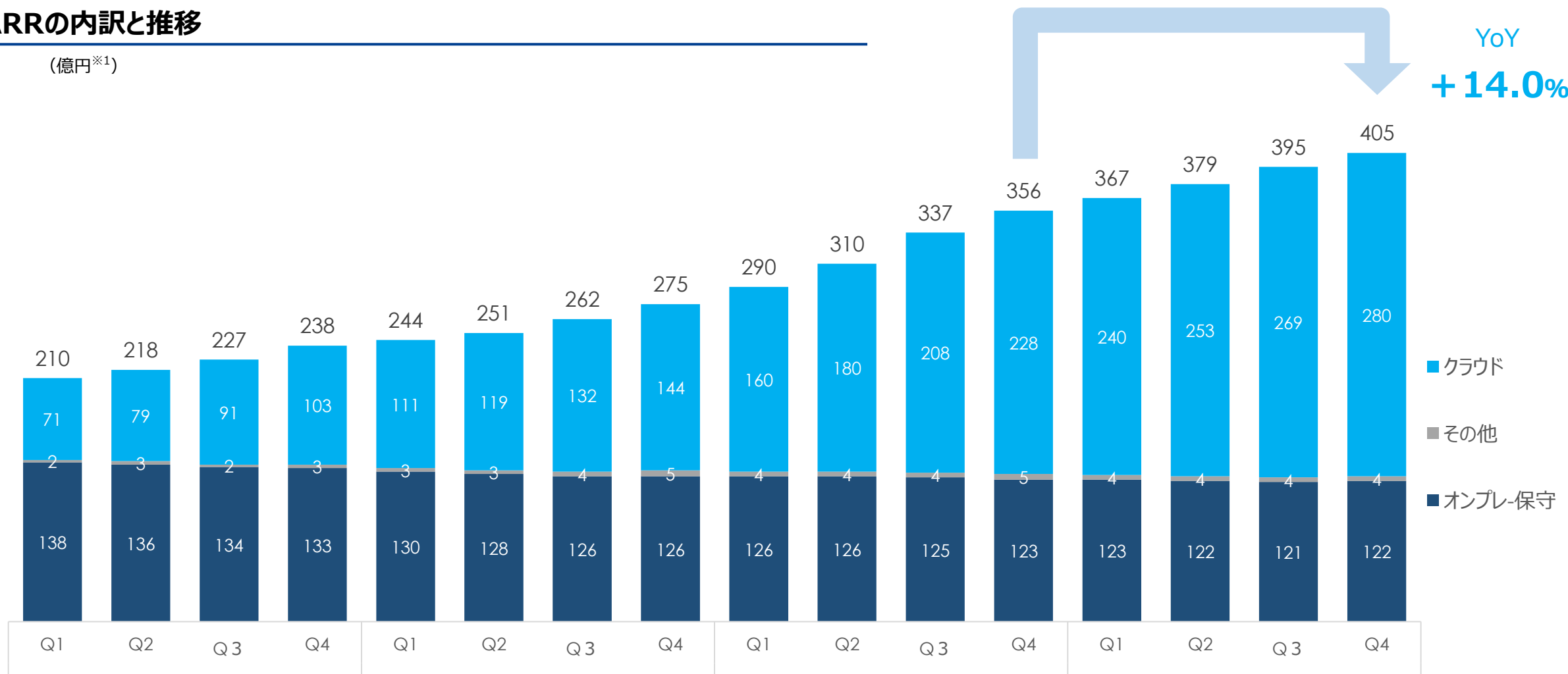
※5：継続収益型サービス（「ソリューション(利用料型)」及び「オンプレミス保守」）を対象に、月次解約率（＝当月解約により減少するMRR÷前月のMRR）の年間平均より契約継続率を算出。

ARRの推移

クラウドユーザー伸長により、前期比14.0%の増加

ARRの内訳と推移

(億円※1)



※1：億円未満四捨五入

クラウド収益の推移

クラウドARR、売上高どちらも増加。SaaSの伸びが牽引。

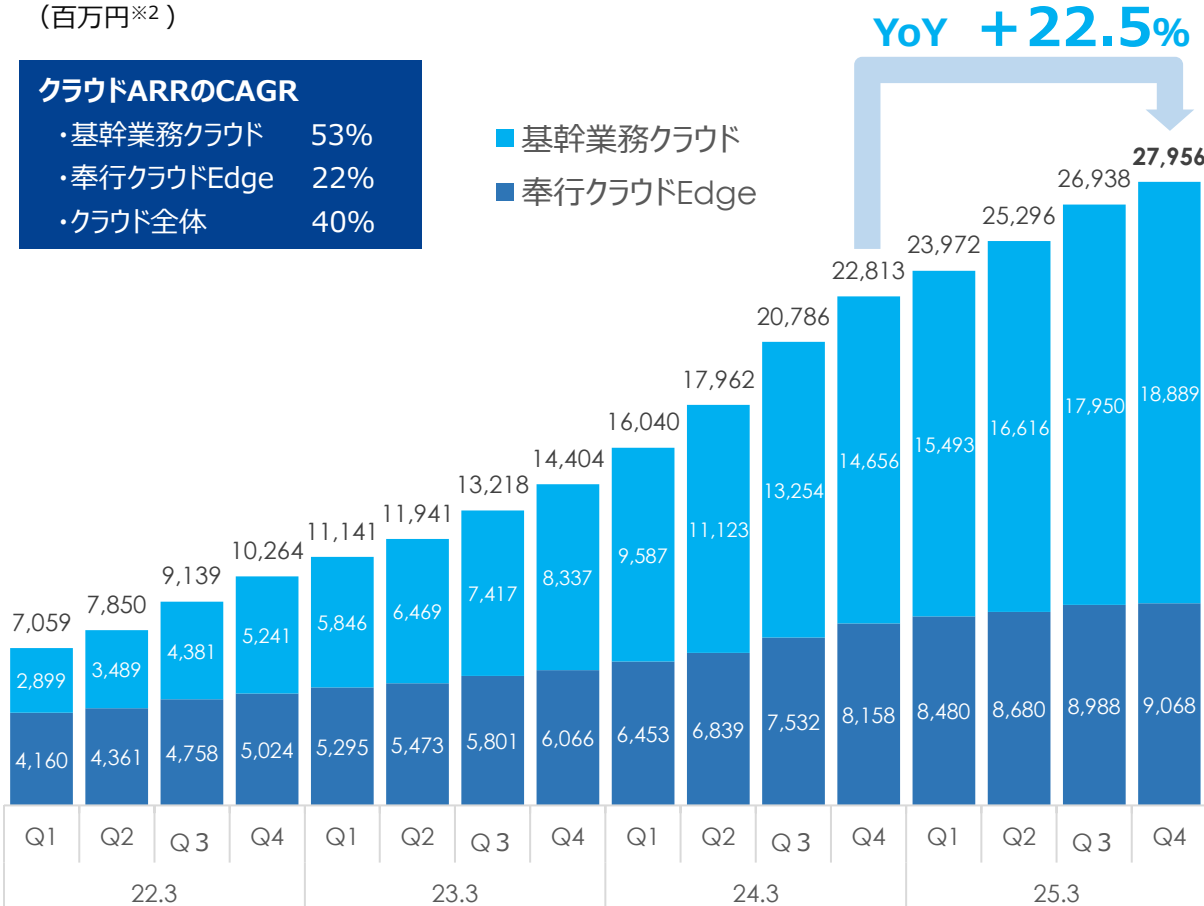
クラウドARRの推移と年間平均伸び率（CAGR）※1

(百万円※2)

クラウドARRのCAGR

- ・基幹業務クラウド 53%
- ・奉行クラウドEdge 22%
- ・クラウド全体 40%

- 基幹業務クラウド
- 奉行クラウドEdge



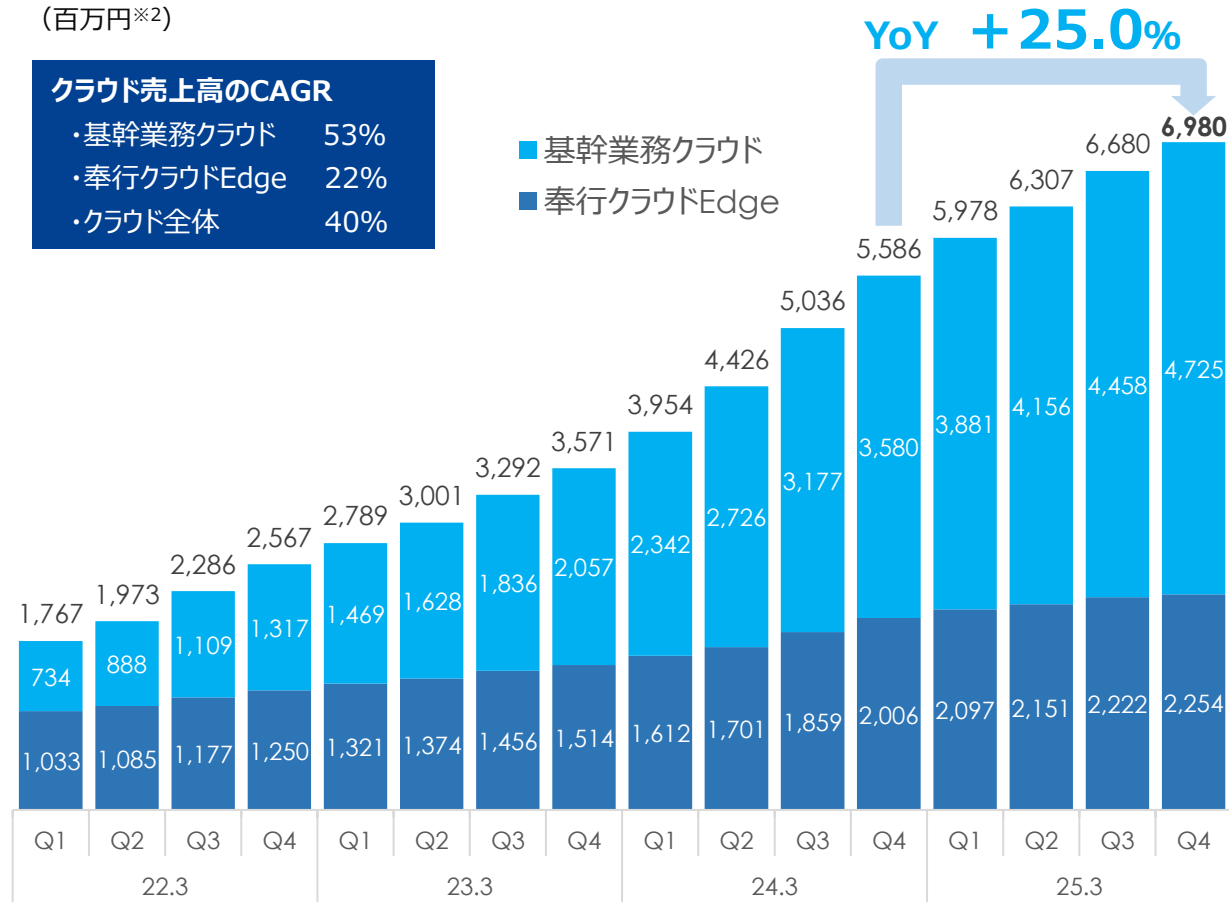
クラウド四半期売上高の推移と年間平均伸び率（CAGR）※1

(百万円※2)

クラウド売上高のCAGR

- ・基幹業務クラウド 53%
- ・奉行クラウドEdge 22%
- ・クラウド全体 40%

- 基幹業務クラウド
- 奉行クラウドEdge



※1：2022年3月期Q4から2025年3月期Q4の年間平均伸び率（Compound Annual Growth Rate）

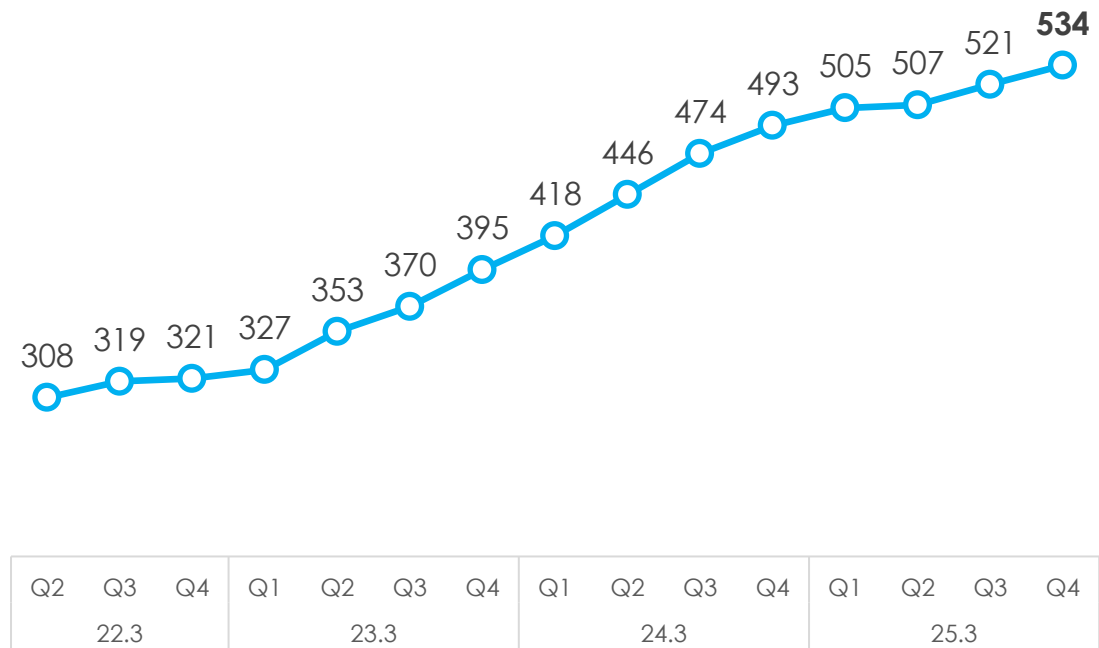
※2：百万円未満四捨五入

クラウドARPU・クラウド稼働システム数の推移

ARPUは奉行V ERPクラウド等の高単価製品が伸び増加。クラウド稼働システム数は堅調に増加が継続。

クラウドARPUの推移

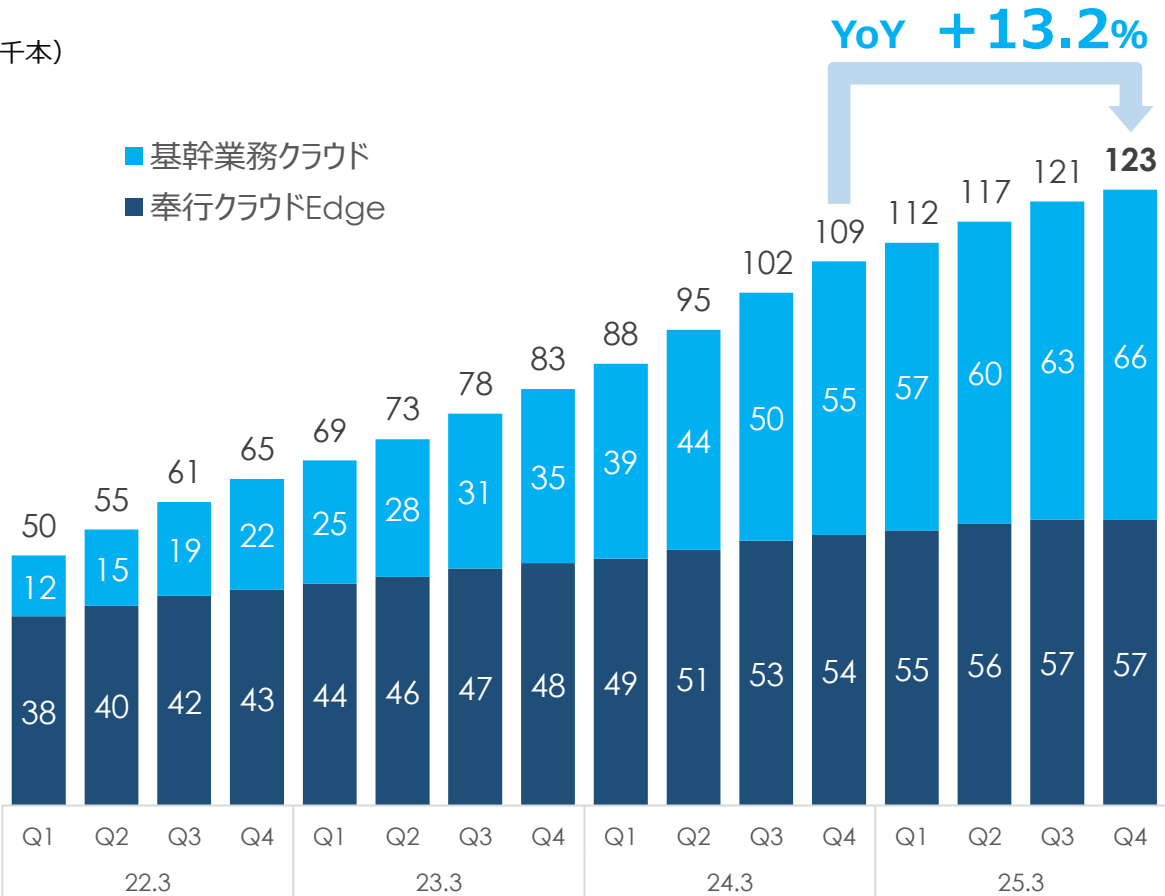
(千円)



※1：クラウドの全利用システム数（オプション等含む）

クラウド稼働システム数の推移※1

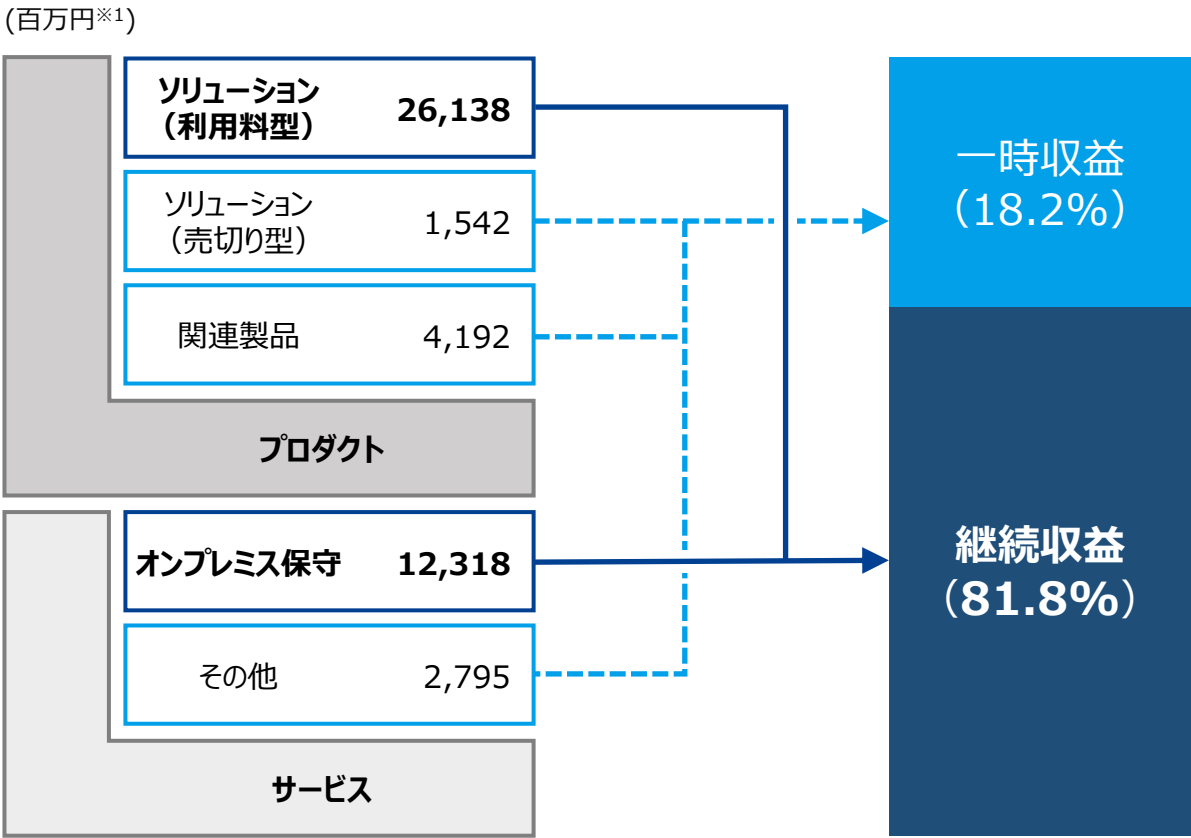
(千本)



継続収益比率

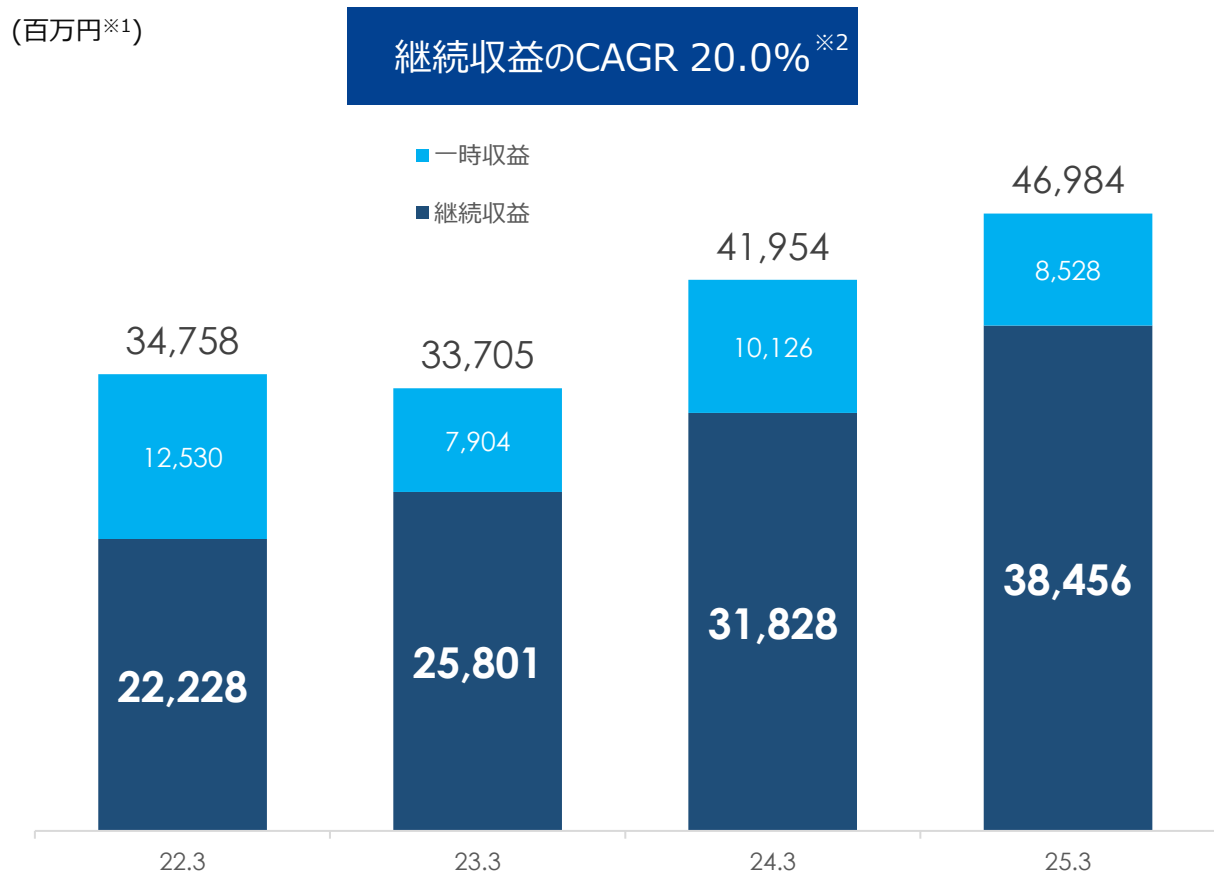
クラウド増加により継続収益が順調に拡大

2025.3期の売上構成比



※1：百万円未満四捨五入
※2：2022年3月期から 2025年3月期の年間平均伸び率（Compound Annual Growth Rate）

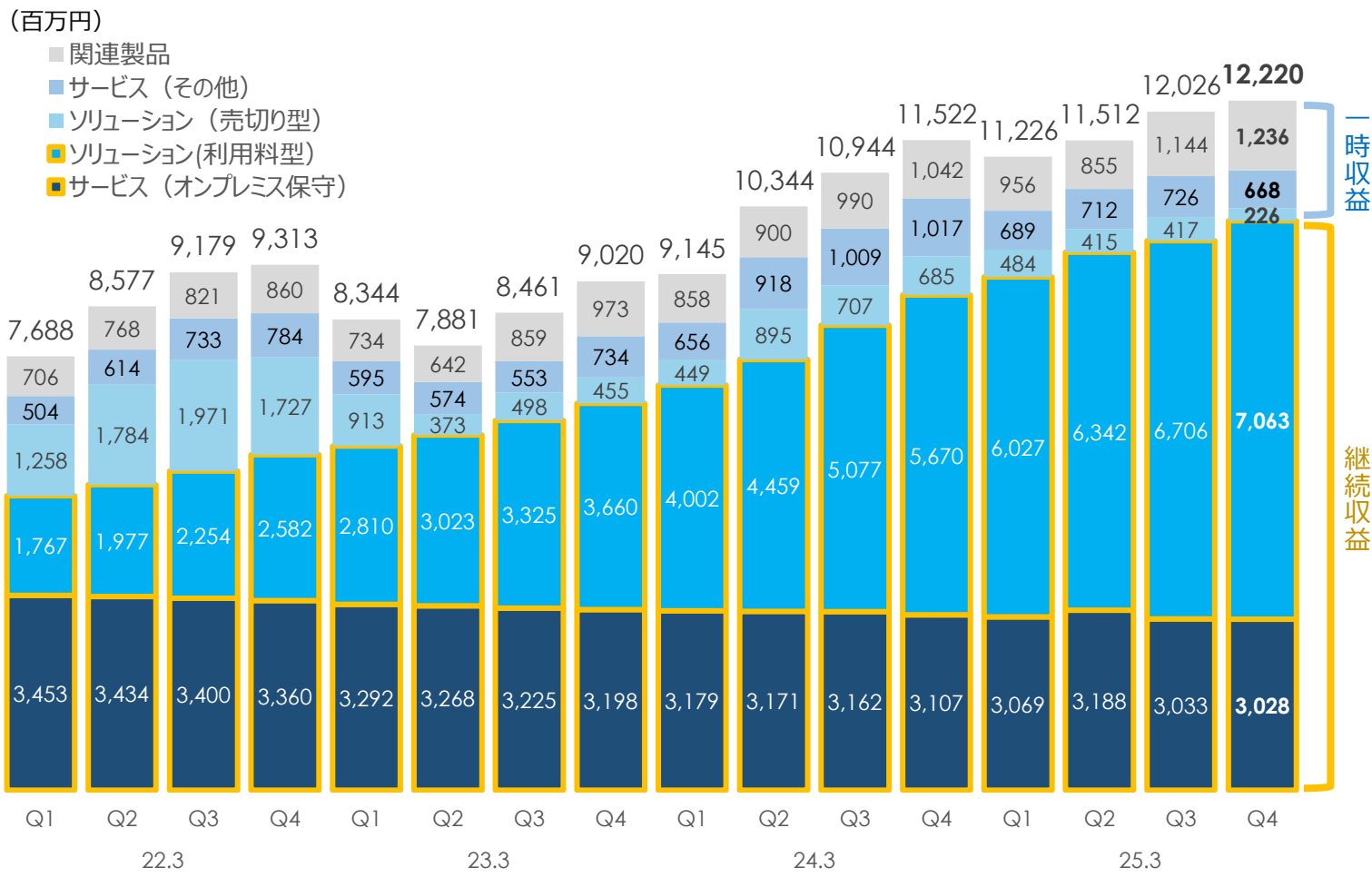
継続収益の推移



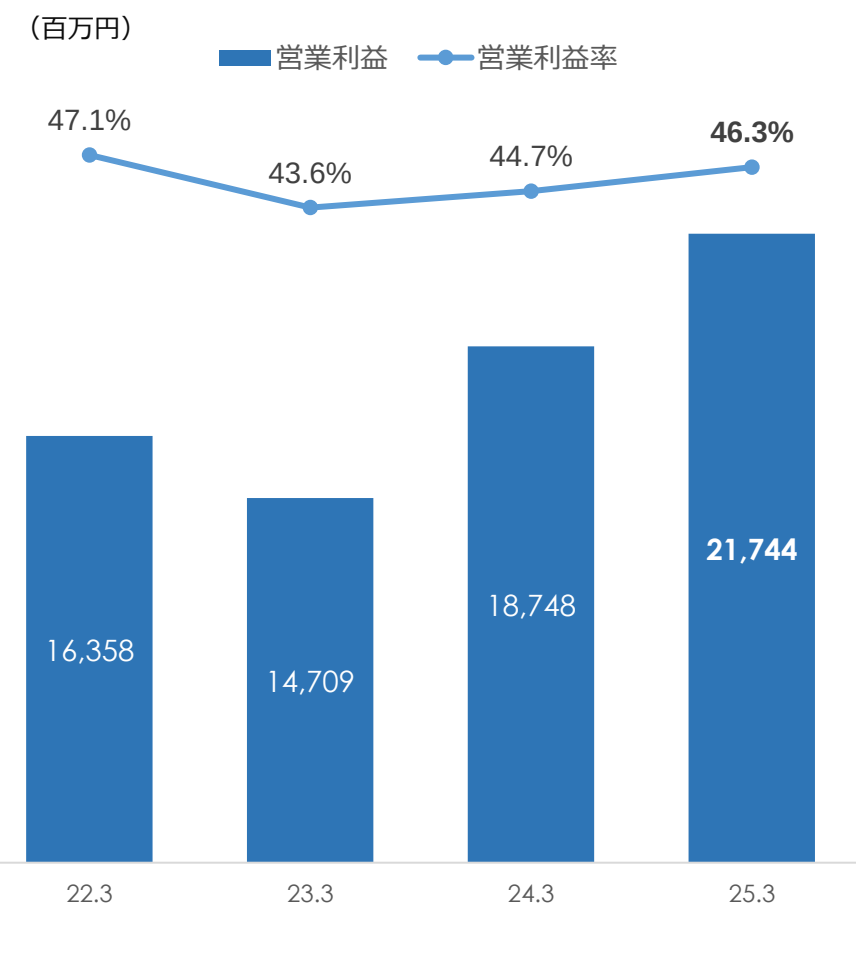
売上構成・営業利益の推移

クラウド増加により継続収益が順調に拡大

売上構成の推移※1（四半期単位）



営業利益と営業利益率※2の推移

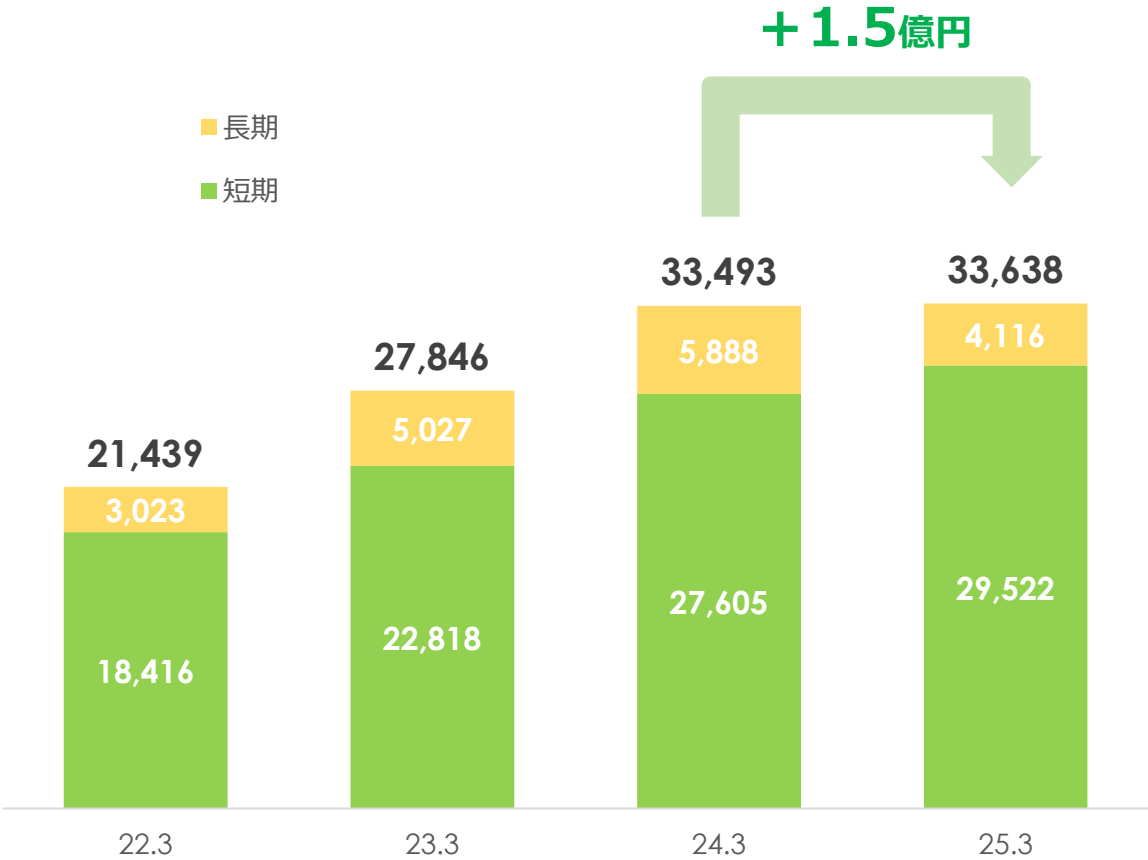


前受収益残高と契約継続率の推移

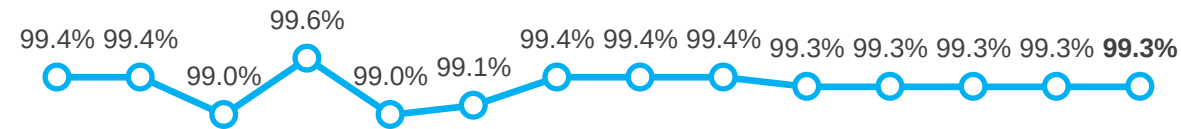
当期より2年超の長期契約を原則廃止した影響により長期前受収益残高が減少も、契約継続率は高率を維持

前受収益残高の推移

(百万円)



契約継続率の推移



Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
22.3			23.3			24.3			25.3				

3. 2026年3月期事業計画



売上高計画（品目別）

(百万円)	25/3期 実績				26/3期 計画					
	上期	下期	通期	構成比(%)	上期	下期	通期	構成比(%)	増減額	前期比(%)
ソリューション	13,269	14,411	27,680	58.9	15,395	17,226	32,621	63.0	4,941	17.9
関連製品	1,812	2,380	4,192	8.9	1,975	2,347	4,322	8.0	130	3.1
サービス	7,658	7,455	15,113	32.2	7,330	7,427	14,757	29.0	△ 356	△2.4
合計	22,738	24,246	46,984	100.0	24,700	27,000	51,700	100.0	4,716	10.0

■ ソリューション

- ✓ 奉行V ERPクラウドの本格的な拡販、奉行クラウドEdgeの市場浸透により新規需要を取り込む
- ✓ IT導入補助金活用によるクラウド移行施策をスタート
- ✓ オンプレミス新規出荷制限により、オンプレミス売上は10億円程度減少を折り込み

■ 関連製品

- ✓ 奉行連動ソリューションの伸長継続

■ サービス

- ✓ クラウドシフトにより、オンプレミスの保守契約の売上高は緩やかに減少

損益計画

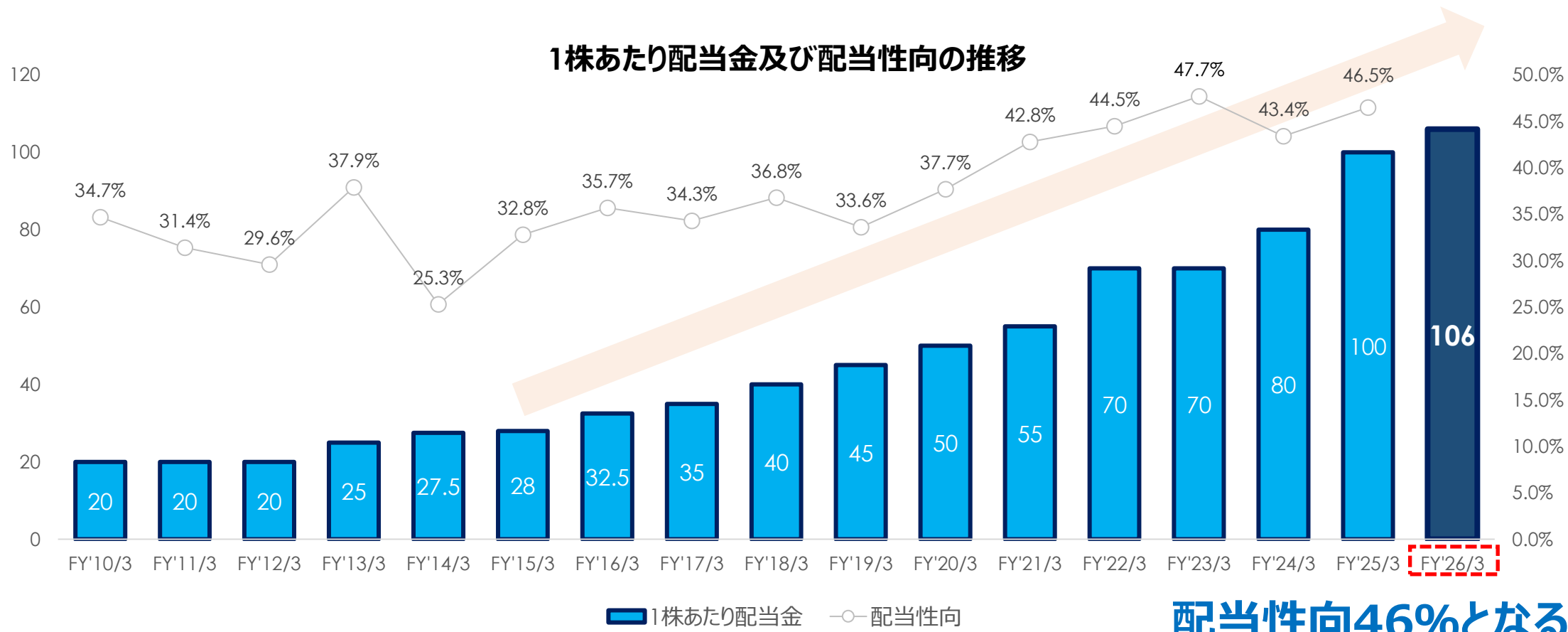
(百万円)	25/3期		26/3期 計画		対前年同期	
	構成比(%)		構成比(%)	増減額	増減率(%)	
売上高	46,984	100.0	51,700	100.0	4,715	10.0
売上総利益	39,337	83.7	43,123	83.4	3,785	9.6
販売管理費	17,593	37.4	19,123	37.0	1,529	8.7
営業利益	21,744	46.3	24,000	46.4	2,255	10.4
営業外損益	1,300	2.8	1,000	1.9	△ 300	△23.1
経常利益	23,044	49.0	25,000	48.4	1,955	8.5
当期純利益	16,182	34.4	17,350	33.6	1,167	7.2

※26/3期の法人税等実効税率：30.6%

売上 総利益	◆ オンプレミスの売上減少を見込むが、収益性の高いクラウド売上の続伸により、売上総利益は3,785百万円増加を見込む
営業 利益	◆ 販売費及び一般管理費は、人件費の増加（人員増及び、競争力のあるベースアップの継続）に加え、奉行V ERPクラウドや請求書DXクラウド等製品の認知施策に広告宣伝費の増加を計画
経常 利益	◆ 上場リート等からの配当金収入を通期10億円見込む
配当 予想	◆ 年間配当額を25/3期100円から106円（中間53円）へ増配

株主還元 - 年間配当計画

年間配当額 前期100円から**106**円（中間53円）へ増配



2014年3月期、2019年3月期は、1株につき2株への株式分割を行っており、分割遡及値で表記しています。

4. 2026年3月期事業戦略



“クラウドネイティブ”AzureのSaaS型ビジネスの確立”

昨今の法改正・人材不足・政府のデジタル化推進施策など、
変化への対応とスピードをこれまで通り継続していくためには
オンプレミス型のサービス提供では困難。

法改正

- ・ 育児・介護休業法
- ・ 雇用保険法
- ・ インボイス経過措置
- ・ 新リース会計基準

人材不足

- ・ 熟練者の引退による技能継承問題
- ・ 団塊世代の引退、少子高齢化による労働者数の減少

デジタル化推進

- ・ Peppolの普及
- ・ 電子申告・電子納税環境の整備

オンプレミス

固定的で時代の変化についていけない

クラウド

柔軟でスケーラブルな運用により
急速な時代の変化に対応できる

すべての
スピードが加速

NEXTステージに向けた成長戦略

基幹業務のDXを支援、UXを提供し、企業のAX実現に貢献する

(デジタルトランスフォーメーション)

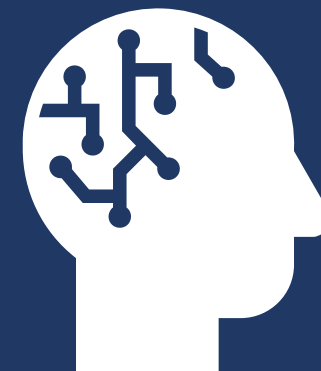
(ユーザーエクスペリエンス)

(AIトランスフォーメーション)

中堅・上場企業ならではの
「広がり・成長」を提供する

業務のアウトソーシングを
クラウドサービスで提供

すべての奉行が業務の
AIエージェントへ



AI・セキュリティ強化

5つの重要戦略

1

IT導入補助金を
活用した
Up to Cloud
奉行11シリーズ
(約11万システム)

2

奉行V ERP
クラウド

3

奉行クラウド
Edgeによる
周辺業務の
デジタル化促進

4

AI・セキュリティ
強化

5

BPaaS戦略

1 IT導入補助金を活用したUp to Cloud 奉行11シリーズ

オンプレミスのクラウド移行施策【第1段】

奉行11シリーズ約11万システム
2027年4月末サポート終了【第1段】※1

※1 20年3月～23年3月出荷製品

奉行 i 11シリーズ約8万システム 第1段：3万システム 第2段：5万システム
奉行V ERP11シリーズ約3万システム 第1段：1万システム 第2段：2万システム

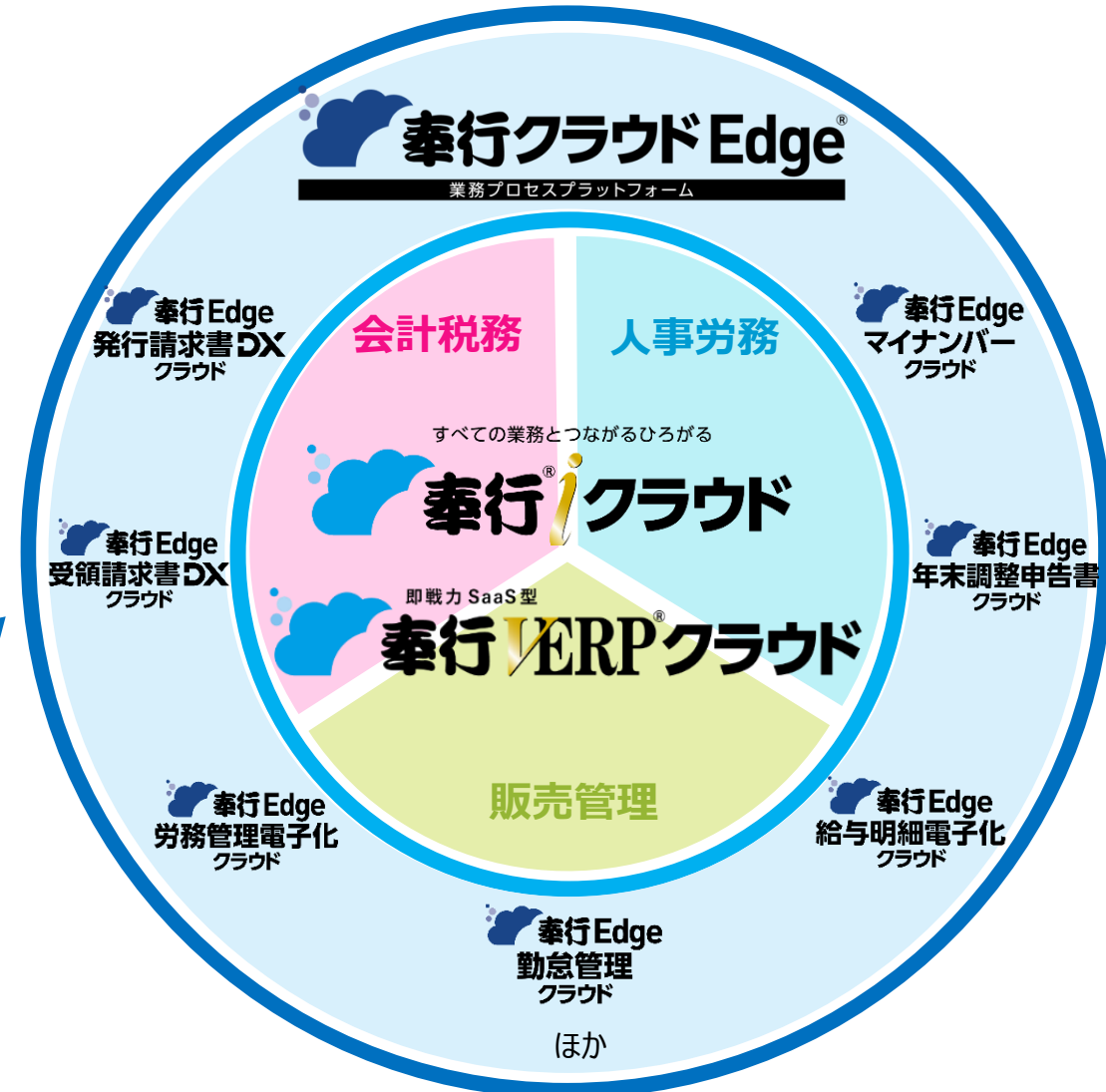
+

奉行11保守価格改定

基幹業務システム
奉行[®] 11 シリーズ

UP_{to}クラウド

IT導入補助金2年分の活用



2 奉行V ERPクラウド

固定資産・リース資産の管理をフルカバー。新リース会計基準の対応準備に万全サポート

新リース会計基準(2027年4月以降開始会計年度から強制適用)への対応準備において、まず、固定資産奉行V ERPクラウドにリース契約情報を投入

The screenshot displays the 'リース契約情報' (Lease Contract Information) input screen. It includes fields for vehicle details (e.g., 215-000016), lease terms (e.g., 2024年10月1日 to 2025年9月30日), and financial data (e.g., 50,000). The interface is organized into sections for contract details, vehicle information, and financial calculations.

リース取引区分を契約情報から自動判定
(現行日本基準及びIFRS16号準拠は実装済)

移動や再リース、契約終了といった
ライフサイクルを詳細に管理

契約	物件	会計処理	月次支払	移動	遊休	再リース	契約終了
【再リース履歴情報】							
No.	1						
リース期間	12	ヵ月					
リース開始日付	2024年10月 1日						
リース終了日付	2025年 9月30日						
支払回数	1	回					
支払間隔	1	ヵ月ごと					
支払開始日付	2024年10月15日						
支払日	15	15日支払					
支払額	0	すべて同じ					
リース料 (税別)	50,000						

固定資産奉行V ERPクラウドユーザーにのみ提供
影響額試算ツールPro版を準備

＜簡易版＞

必要最低限の情報を入力すればシミュレーションが可能。
自社にとって影響があるかを簡単に判断したいお客様向けのツール

＜Pro版＞

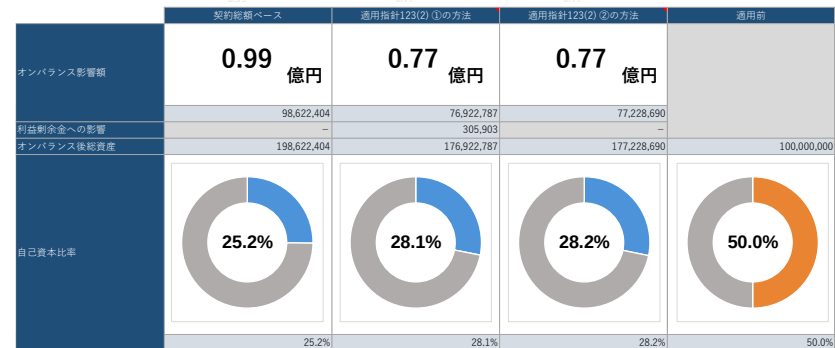
リースの前払/後払や、残価保証額、資産ごとの割引率の設定など、
より詳細なシミュレーションが可能。
さらに、登録した資産を1アクションで固定資産奉行V ERPクラウド
へのインポートも可能

リースオンバランスによるBS影響

オンバランス件数 / 契約件数	
2 件 / 2 件	

オンバランス件数	2
少額リース件数	0
契約件数	2

総資産	100,000,000	～直近期の実績を円単位で入力してください
自己資本	50,000,000	～直近期の実績を円単位で入力してください



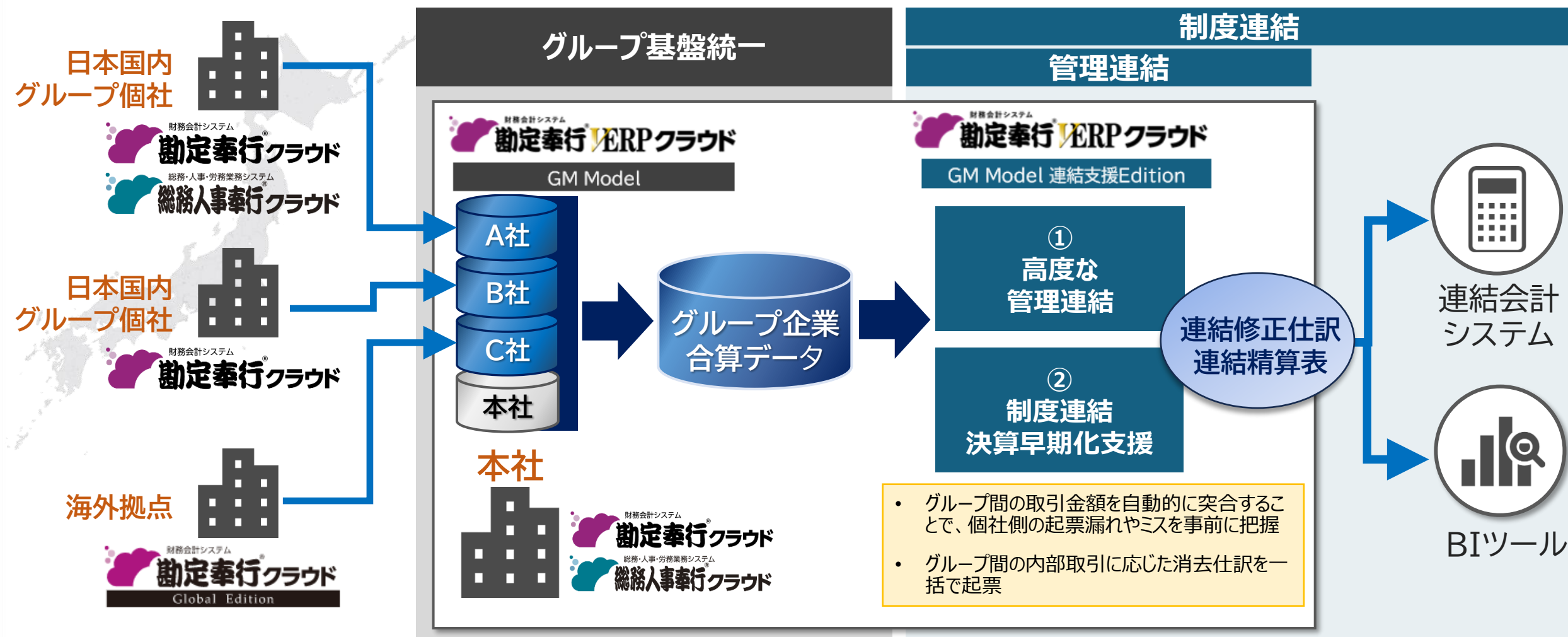
	当初計上額	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後
賃借料 (適用前)	21,999,996	21,999,996	21,999,996	21,999,996	21,999,996	12,000,000
減価償却費	21,699,617	21,699,617	21,699,617	21,699,617	21,699,617	11,823,936
支払利息	550,768	423,467	273,608	122,707	7,031	
減価償却費 + 支払利息 (適用後)	22,250,385	22,123,084	21,973,225	21,822,324	21,830,967	
営業利益への影響額	300,379	300,379	300,379	300,379	300,379	176,064
経常利益への影響額	-250,389	-123,088	26,771	177,672	169,033	
使用権資産残高	98,622,404	76,922,787	55,223,170	33,523,553	11,823,936	0
リース負債残高	97,789,071	76,339,843	54,763,314	33,036,926	11,992,969	0

新リース会計基準に準拠した自動判定機能を実装

2 奉行V ERPクラウド

連結会計支援Edition (AIエージェント)

グループ企業の単純合算ではなく、より高度な管理連結や連結決算早期化を支援するサービスとして提供



2 奉行V ERPクラウド

ノーコード・ローコードデータ連携、APIによる他社ソリューションとの連携



アステリア株式会社



マジックソフトウェア・ジャパン株式会社



株式会社スリーシェイク



サイボウズ株式会社



SCSK株式会社



住友電工情報システム株式会社

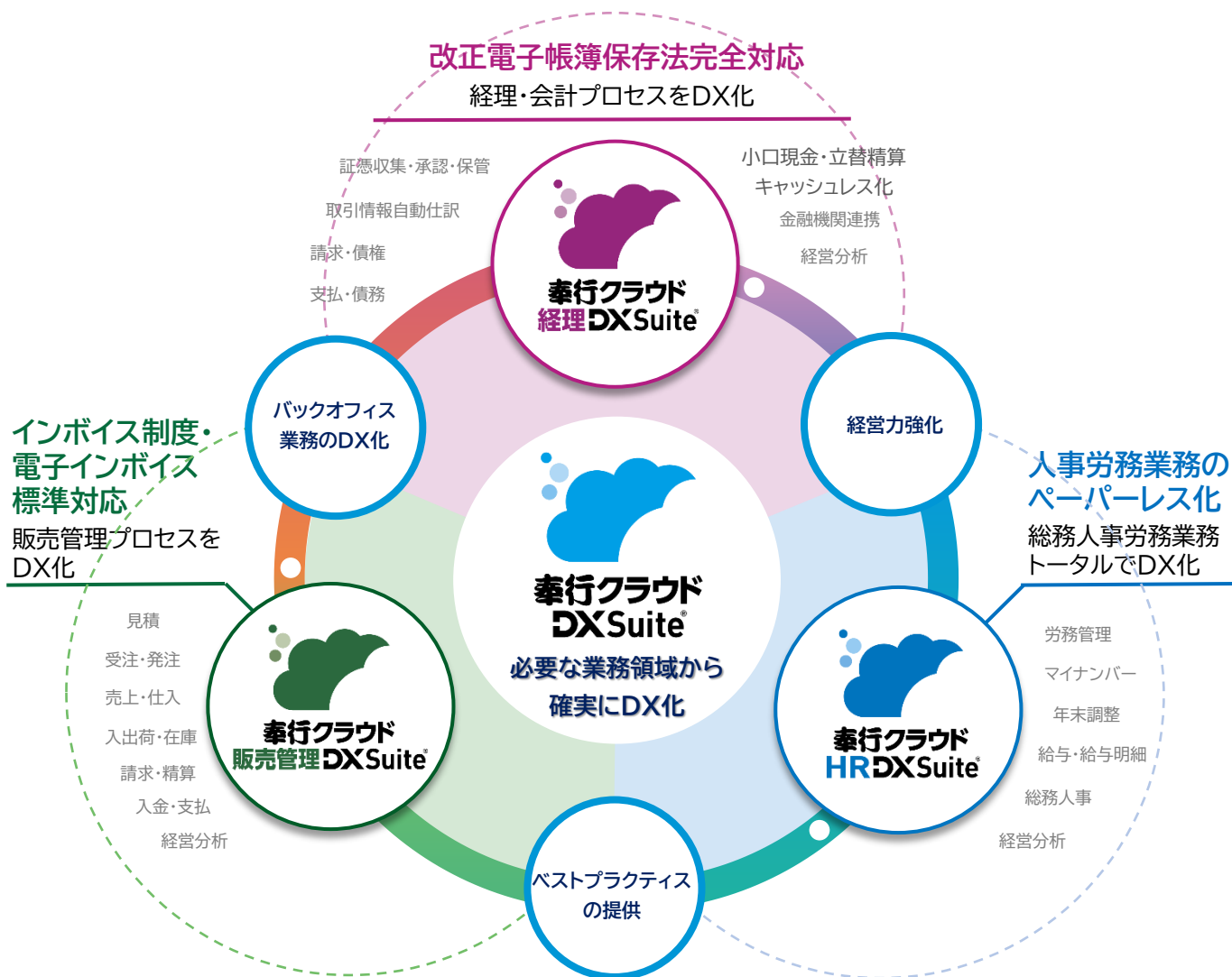


キヤノンITソリューションズ株式会社



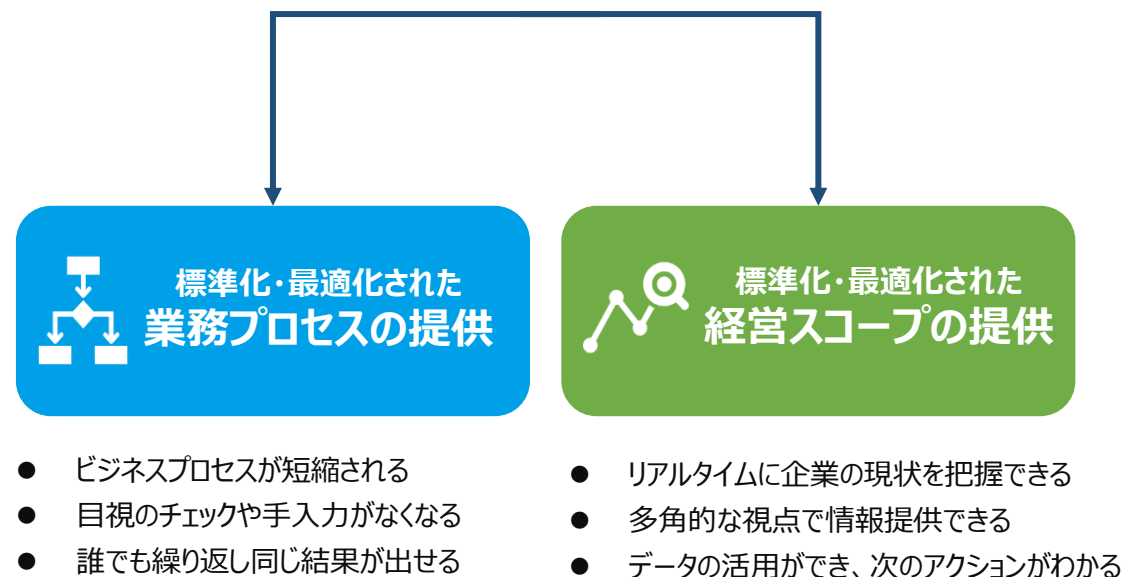
3 奉行クラウドEdgeによる周辺業務のデジタル化促進

バックオフィス業務のDXで、経営力を強化する「奉行クラウド DX Suite」



奉行クラウド DX Suiteは、業務と経営判断を高度化するためのベストプラクティスによってバックオフィス業務をDX化し、経営力の強化に貢献します。

奉行クラウド DX Suite®
= 時代に整合したベストプラクティスの提供



あらゆる請求書業務がペーパーレスで完結

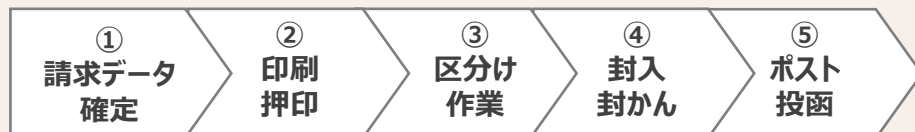
紙でもPDFでも、請求書の形式を問わずペーパーレスを前提とした業務環境に置き換えることができるため、面倒な手作業やミスがゼロになる。さらに、請求書の発行側と受取側どちらもPeppol仕様(奉行シリーズは対応済)を利用することで、PDFの読取りや保管業務もゼロになる。

奉行Edge 発行請求書DX クラウド

請求書発行

業務プロセス

Before



After



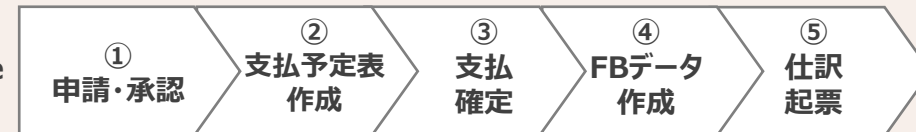
5プロセス→1プロセスに削減

奉行Edge 受領請求書DX クラウド

請求書受領

業務プロセス

Before



After



5プロセス→2プロセスに削減

3 奉行クラウドEdgeによる周辺業務のデジタル化促進

奉行Edge発行請求書DXクラウドならあらゆるシステムとの自動連携で請求書業務をDX

既存のシステムを変えることなく、多様な方法で自動連携機能で取り込める為、請求書業務のDXを実現可能。

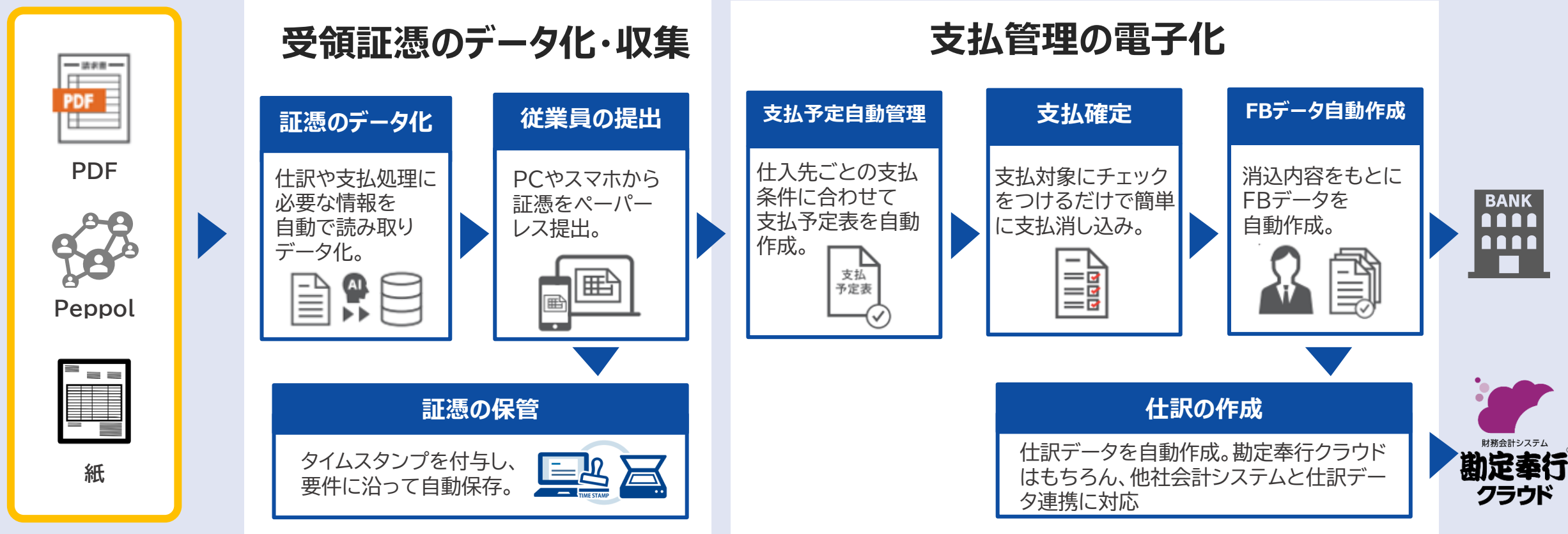


3 奉行クラウドEdgeによる周辺業務のデジタル化促進

奉行Edge受領請求書DXクラウドなら一連の支払業務の生産性を向上できる！



拠点や従業員に届くあらゆる証憑をペーパーレスで収集
さらに支払予定管理やFBデータ作成を自動化するため、ミス・漏れのない支払業務を実現



4 AI・セキュリティ強化

AIの取り組み

連結会計AIエージェント

・各グループ個社の科目体系
・リアルタイム金額

・連結科目体系
・収集した金額

リアルタイムな金額と収集した金額を比較して、正しく収集できているかを確認する。

AIサービス（奉行クラウド全製品） 「知りたいこと」に的確に回答し、日々の業務をアシスト

法定調書会計資料の金額や人数が管理資料と合わない原因は、以下の通りです：

- 調整額が原因の場合：調整額が入力されている社員を確認する必要があります。
- 年末調整の処理状況が原因の場合：年末調整一覧表で、退職社員や年調不調の社員を含めて集計する必要があります。
- 支払金額が0円以下の社員が原因の場合：年末調整一覧表で課税収入金額を確認し、0円以下の社員がいるか確認します。
- 単独年調の社員が原因の場合：年末調整方法が「単独年調」の社員を確認し、源泉徴収税額を確認します。

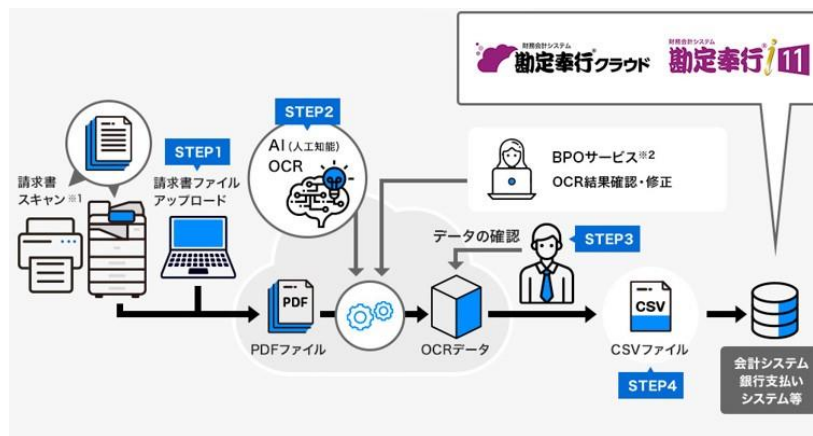
これらの原因を確認することで、金額や人数の不一致の原因を特定できます。

以下のリンクもあわせてご確認ください。

- [法定調書会計資料の金額や人数が管理資料と合わない](#)
- [年末調整ガイド](#)
- [法定調書会計資料](#)
- [法定調書会計資料に集計されている金額の内訳（社員ごとの金額）を確認したい](#)

回答は役に立ちましたか？

AI-OCRオプション for 奉行クラウド AI×OCRで請求書内容の自動データ化により経理業務を効率化



生成AI

深層学習

4 AI・セキュリティ強化

AIの取り組み

銀行入出金データ、クレジットカード 利用明細データからの自動仕訳

The screenshot shows a financial software interface with a table of transactions and a summary table below it.

振替種別	振替日	振替元コード	振替先名称	振替先	出金額	入金額
振替入金	19 4 30	0000000003	銀行振込			4,900,000
振替入金	19 4 30	0000000010	銀行振込			1,417,447
振替入金	19 4 30	0000000013	銀行振込			1,367,415
振替入金	19 4 30	0000000018	銀行振込			551,881
振替入金	19 4 30	0000000018	銀行振込			3,456,000
振替入金	19 4 30	0000000020	銀行振込			2,037,893
振替入金	19 4 30	0000000013	銀行振込			551,881
振替入金	19 4 30	0000000018	銀行振込			3,456,000
振替入金	19 4 30	0000000020	銀行振込			2,037,893
振替入金	19 4 30	0000000013	銀行振込			551,881

振替日付	19年 4月30日	通帳振替	伝票No.	振替先
001	第一営業部門	001	第一営業部門	元金入金
111	普通預金	135	普通預金	1,367,415
003	西武銀行本店	00000013	西武銀行本店	1,368,215
000	その他			
753	支払手数料	8%		800 (59)

勘定奉行クラウドGlobal Edition での多言語対応・自動翻訳

例) タイ語で入力された摘要の
文字の翻訳イメージ

SGD	5.9891	500.75	ยังไม่ได้รับรวมลูกหนี้
001	Sales1		
31100	コンサルティング収入	2,999.04	

仕訳伝票上で入力された摘要は翻訳可能
現地語 ⇒ 日本語 or 英語

日本語に翻訳

ยังไม่ได้รับรวมลูกหนี้

未徴収売掛金

英語に翻訳

ยังไม่ได้รับรวมลูกหนี้

Not yet collected accounts receivable

サポートアシスタントAI OBCサポートセンター業務をAIが伴奏



Azure OpenAI Service
(OpenAIの言語モデル)

社内FAQ
問い合わせ履歴
マニュアル など



機械学習

翻訳AI

生成AI

セキュリティ：OBCが提供する3つの安全・安心

① Azure + SQL Database

が提供するセキュリティ(プラットフォーム)

世界トップレベルセキュリティ

米国国防総省に次ぐサイバー攻撃を防御し、その情報を反映

日本政府選定 ガバメントクラウド

政府が認めた共通利用クラウド環境

日本国内データセンター限定(国内法準拠)

データは国内法が適用される日本国内データセンターにのみ保管

東日本・西日本バックアップ (BCP/6重化)

東日本をメインとし、西日本にバックアップ、それぞれで3重化されます

月間稼働率99.9%保証 (※Azure SLA)

Azureのサービスレベルアグリメント



東日本データセンターを中心に、西日本のデータセンターをバックアップセンターとして活用



自動的に3重化

② 奉行クラウドが提供するセキュリティ(サービス)

OBCiDによるアクセス認証

一つのIDで複数の奉行クラウドサービスを利用。シングルサインオン対応

暗号化による強固なデータ保護

すべてのデータを暗号化。あらゆる通信をSSLで保護

24時間365日運用監視

利用状況、リソース状況などを自動監視。脅威に対する備えは万全

WAF(Web Application Firewall) + FireWall

WAFにより、様々なサイバー攻撃をブロック。FireWallですべてのサービス境界を防御

定期的な脆弱診断テスト

リリース時、および年1回の定期脆弱診断により、脆弱性を排除



③ OBCが提供するセキュリティ(開発・管理・運用体制)

ISMAP

(2025年春登録予定)

政府情報システムのためのセキュリティ評価制度

SOC1/SOC2

(内部統制/セキュリティ)

国際会計基準による第三者監査評価



第三者監査評価

大手監査法人による監査

ISMAP/SOC1/SOC2は監査法人監査必須

国内最高レベルの

開発・管理・運用体制

ISMAP/SOC監査により

「データの信頼性」の確保

データの信頼性は最も重要です。Microsoft Azureが提供するクラウドプラットフォーム、SQLデータベース、クラウド開発環境(PaaS)を採用することにより、継続的な「データの信頼性」を確保しています。

研究開発投資の成果を享受

MicrosoftがAIやセキュリティなど新技術に毎年投資する、数千億もの研究開発投資の成果を、奉行クラウド、奉行クラウドEdgeの各製品は自動的に享受することができます

Windowsアプリの使いやすさ

Windowsアプリを意識したユーザーインターフェースになっており、オンプレミスと同等以上のきめ細かい機能性・操作性を実現しています。

5 BPaaS (BPO + SaaS) 戦略

奉行クラウドを活用したBPaaS「奉行クラウドBPaaS」を開始予定

奉行クラウドBPaaSは、税理士・会計士や社会保険労務士をはじめ、奉行クラウドの導入・運用に豊富な実績を持つOBCの「BPaaS認定事業者」によるBPaaS。

BPaaSとは、企業が自社で行っていた特定の業務プロセスを、外部企業が提供するクラウド上のサービスに委託することで、業務効率化を目指すサービス

奉行クラウドBPaaSの特長

- 奉行クラウドの運用に精通した、**プロによるBPaaS**
- **「すぐに依頼したい」**など、お客様の**ご要望に迅速に対応**
- **業務改善、DX**を伴走支援
- **中小・中堅から大企業、グループ・グローバル企業**まで幅広く対応可能
- 業務をしっかりとヒアリングし、**お客様に合ったプランを設計**

経理業務

- ・記帳代行
- ・振込代行
- ・予算管理、管理会計
- ・請求業務
- ・通勤費、経費精算 等

人事労務業務

- ・給与賞与計算
- ・年末調整
- ・入社、退社手続き
- ・社会保険手続き
- ・勤怠管理 等

職業専門家

会計士、税理士、
社労士等



グループ会社

シェアードサービス
子会社等



Appendix



会社概要・奉行クラウドシリーズ

商号	株式会社オービックビジネスコンサルタント OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO.,LTD
代表者	代表取締役社長 和田 成史
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号住友不動産新宿オークタワー
設立	1980年12月
事業開始	1981年7月
資本金	105億1,900万円
従業員数	1,304名（2025年4月1日現在、臨時雇用者数含む）
決算期	年1回（3月）
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：4733）
事業内容	企業業務（会計・人事・給与等の基幹業務や、それに係る周辺業務）に関するソリューションテクノロジーの開発メーカーとして、パートナー企業を通して、お客様の業務効率化に貢献するクラウドサービス等を提供
事業所	札幌・仙台・関東・東京・横浜・静岡・名古屋・金沢・大阪・広島・福岡
開発センター	東京（常時400名規模の開発体制）



▲ 開発センター

業務クラウド国内No.1ブランド「奉行シリーズ」

小規模・中小企業向け
基幹業務クラウド



中堅・上場企業向け
クラウドERP



従業員向け
働き方改革ソリューション



累計導入数
800,000
※2024年8月現在

中堅企業 > 累計 **17,841**
奉行V ERP > 累計 **14,758**
上場企業 > 累計 **1,807**

奉行クラウド
奉行クラウドEdge
累計導入システム
139,310 システム以上
※2024年8月現在

契約継続率 > **99.3** %
利用者数 > **1,367** 万人

奉行Edge マイナバークラウド
※2024年8月現在

利用数 **13,130**
利用者数 **3,191,600**人

奉行Edge 勤怠管理クラウド
※2024年8月現在

利用数 **12,810**
利用者数 **1,327,900**人

奉行Edge 年末調整申告書クラウド
※2024年8月現在

利用数 **12,900**
利用者数 **2,430,800**人

奉行Edge 給与明細電子化クラウド
※2024年8月現在

利用数 **18,400**
利用者数 **2,711,600**人



日経コンピュータ調査 2024年9月5日号

顧客満足度調査 2024-2025

ERP部門 **第1位**

OBC、6年連続 通算17回目の第1位を獲得

(受賞年：2005～2011年、2014年～2017年、2019年～2024年) ※本調査は製品ではなく企業を対象にしたものです。

	総合満足度	性能・評価	信頼性	運用性	コスト	サポート	継続意向度
重視度		63.7	67.2	60.6	43.8	34.1	
全体平均 [有効指数は合計値]	54.0	58.2	64.1	51.8	37.5	51.3	56.7
オービックビジネスコンサルタント [奉行V ERPなど]	73.4	77.0	80.7	74.5	55.9	72.8	76.1



日経コンピュータ 2024年3月7日号

パートナー満足度調査 2024

基幹系ソフト / サービス部門 **第1位**

OBC4年連続 通算12回目の第1位を獲得

(受賞年：2006年、2008年、2009年、2011年～2013年、2016年、2019年、2021年～2024年)

※本調査は製品ではなく企業を対象にしたものです。

奉行クラウドと奉行クラウドEdgeの5つの強み

1

高い業務レベルに対応

**今まで以上の
高品質**

機能性・スピード・
操作性

2

業務環境の多様性に対応

**いつでも
どこでも**

テレワーク
多様な働き方対応

3

業務のデジタル化を実現する

**つながる
ひろがる**

データ連携
APIエコノミー

4

プロフェッショナルの支援

**職業専門家
ライセンス**

専用ライセンスを
標準提供

5

DXを成功に導く

セキュリティ：OBCが提供する3つの安全・安心

多様な業務環境の提供し、業務の生産性を向上させる

1 今まで以上の高品質

従来の奉行シリーズより、機能性・スピード・操作性すべてにおいて、「今まで以上」を実現しています。

従来の機能性に自動化機能を加え 精度と生産性を向上



今までと同じ業務ができる安心に加え、自動化など、「業務のデジタル化」の実現により今まで以上に速く・正確な業務が可能になります。

業務のプロも納得のスピード



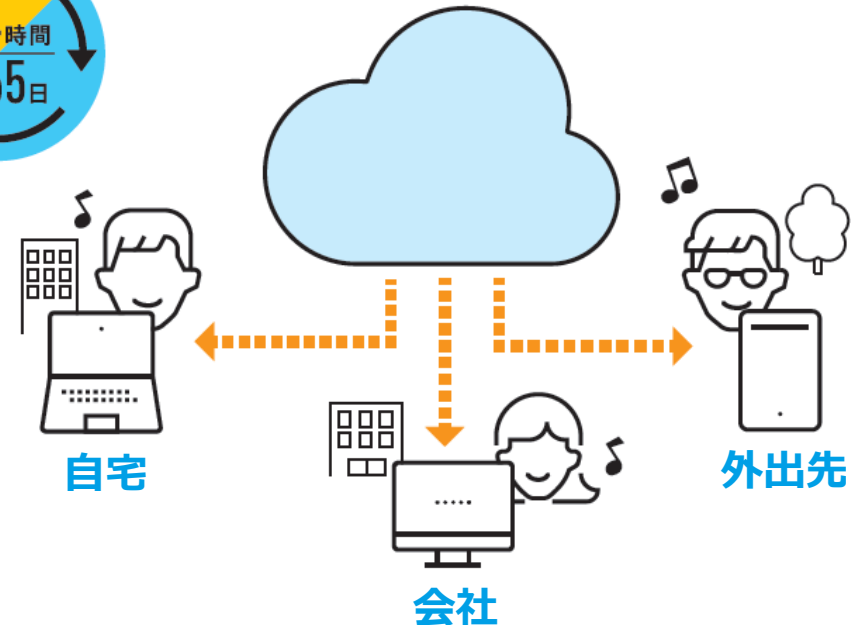
高速処理を実現するAzure SQL Database (Premium)および、操作性を飛躍的に高めるWPF※の採用により、快適な業務を実現します。

※Windows Presentation Foundation

2 いつでも・どこでも

奉行クラウドは、いつでも、どこからでも利用でき、多様な働き方に対応します。

リモートワーク、在宅勤務／テレワークなど、時間や場所にとらわれない働き方に対応

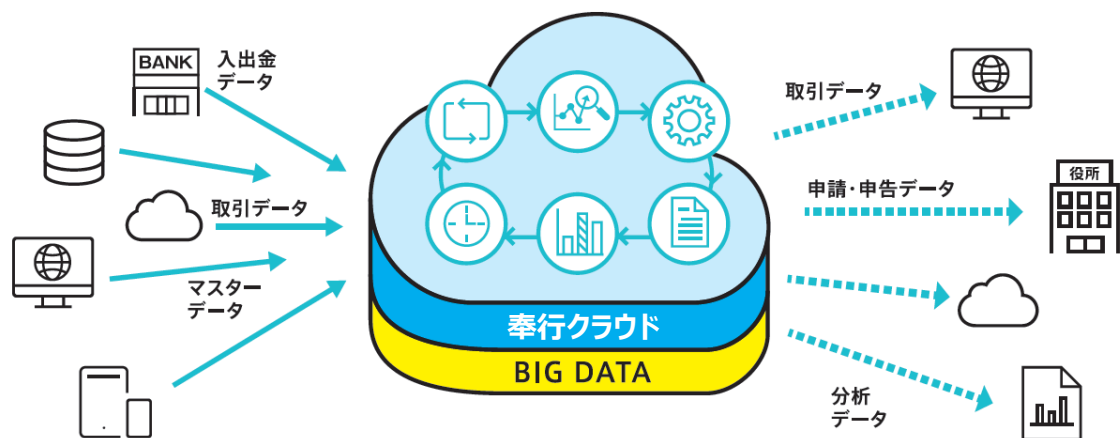


業務をデジタル化(DX)し、より高いレベルで企業をサポートする

3 つながる・ひろがる

システムの垣根を超えて、かんたん・シームレスにデータを自動連携し、幅広い業務をデジタル化します。

データが自動的につながり、
データ受入や入力作業が不要に

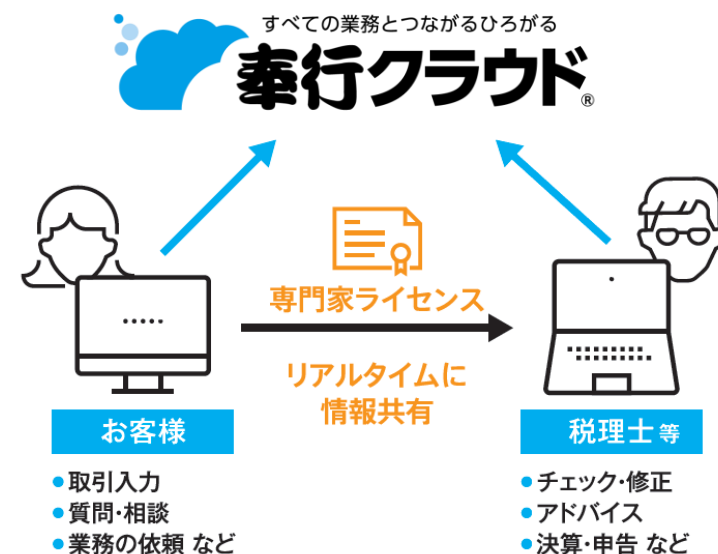


<https://www.obc.co.jp/bugyo-cloud/apiservice>

4 職業専門家ライセンス

税理士・社労士などの職業専門家と一緒に利用できる「専門家ライセンス」を標準提供しています。

プロの支援を
受けながら
業務が可能に



様々な専門家にライセンスを提供可能



① Azure+SQL Database

が提供するセキュリティ(プラットフォーム)

世界トップレベルセキュリティ

米国国防総省に次ぐサイバー攻撃を防御し、その情報を反映

日本政府選定 ガバメントクラウド

政府が認めた共通利用クラウド環境

日本国内データセンター限定(国内法準拠)

データは国内法が適用される日本国内データセンターにのみ保管

東日本・西日本バックアップ (BCP/6重化)

東日本をメインとし、西日本にバックアップ、それぞれで3重化されます

月間稼働率99.9%保証 (※Azure SLA)

Azureのサービスレベルアグリメント



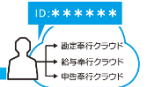
東日本データセンターを
中心に、西日本のデータ
センターをバックアップ
センターとして活用



② 奉行クラウドが提供するセキュリティ(サービス)

OBCiDによるアクセス認証

一つのIDで複数の奉行クラウドサービスを利用。シングルサインオン対応



暗号化による強固なデータ保護

すべてのデータを暗号化。あらゆる通信をSSLで保護



24時間365日運用監視

利用状況、リソース状況などを自動監視。脅威に対する備えは万全

WAF(Web Application Firewall)+FireWall

WAFにより、様々なサイバー攻撃をブロック。FireWallですべてのサービス境界を防御

定期的な脆弱診断テスト

リリース時、および年1回の定期脆弱診断により、脆弱性を排除

③ OBCが提供するセキュリティ(開発・管理・運用体制)

ISMAP

(2025年春登録予定)

政府情報システムのためのセキュリティ評価制度

SOC1/SOC2

(内部統制/セキュリティ)

国際会計基準による第三者監査評価



第三者監査評価

大手監査法人による監査

ISMAP/SOC1/SOC2は監査法人監査必須

国内最高レベルの

開発・管理・運用体制

ISMAP/SOC監査により

「データの信頼性」の確保

データの信頼性は最も重要です。Microsoft Azureが提供するクラウドプラットフォーム、SQLデータベース、クラウド開発環境(PaaS)を採用することにより、継続的な「データの信頼性」を確保しています。

研究開発投資の成果を享受

MicrosoftがAIやセキュリティなど新技術に毎年投資する、数千億もの研究開発投資の成果を、奉行クラウド、奉行クラウドEdgeの各製品は自動的に享受することができます

Windowsアプリの使いやすさ

Windowsアプリを意識したユーザーインターフェースになっており、オンプレミスと同等以上のきめ細かい機能性・操作性を実現しています。

奉行クラウドをご利用いただくお客様のスムーズな導入・稼働をご支援します。



＜動画でかんたんにまなべる！＞

奉行まなぼーど

奉行クラウドをご利用中のお客様専用サイト「奉行まなぼーど」をご用意しています。導入手順はもちろん、稼働後の便利機能や活用Tipsを動画で分かりやすく学べるため、かんたんに使いこなしていくことができます。



＜お客様の導入をマンツーマンでサポート！＞

導入指導サービス

インストラクターがお客様の導入をご支援します。マンツーマンでご支援するため、お客様の運用や業務をヒアリングした上で最適な方法をご案内いたします！※別途有償サービスとなります。



＜困ったときも安心！＞

サポートセンター

お困りの際は、お電話でのサポートに加え、Web、FAXでのお問合せも受け付けております。お客様の画面を一緒に見ながら、具体的な操作方法をご案内するリモートサポートもご用意しています。

業務に精通した専任スタッフによる安心サポート

業務レベルに精通した専任スタッフが導入時はもちろん、お客様の様々な運用方法までご相談いただけます。
OBCサポートセンターは確実・迅速に疑問にお応えします。

受付時間：月曜日～金曜日 9:30 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00
※土曜日・日曜日・祝祭日、年末年始は休業
※業務繁忙時期は17:30までの時間延長を実施する場合あり（時期/製品の限定あり）



電話サポート

じっくりサポートを受けたい方向け

会員専用回線で専任オペレーターが丁寧にお問い合わせに対応します。**リモートサポートサービス**のご利用も可能です。



オンラインサポート

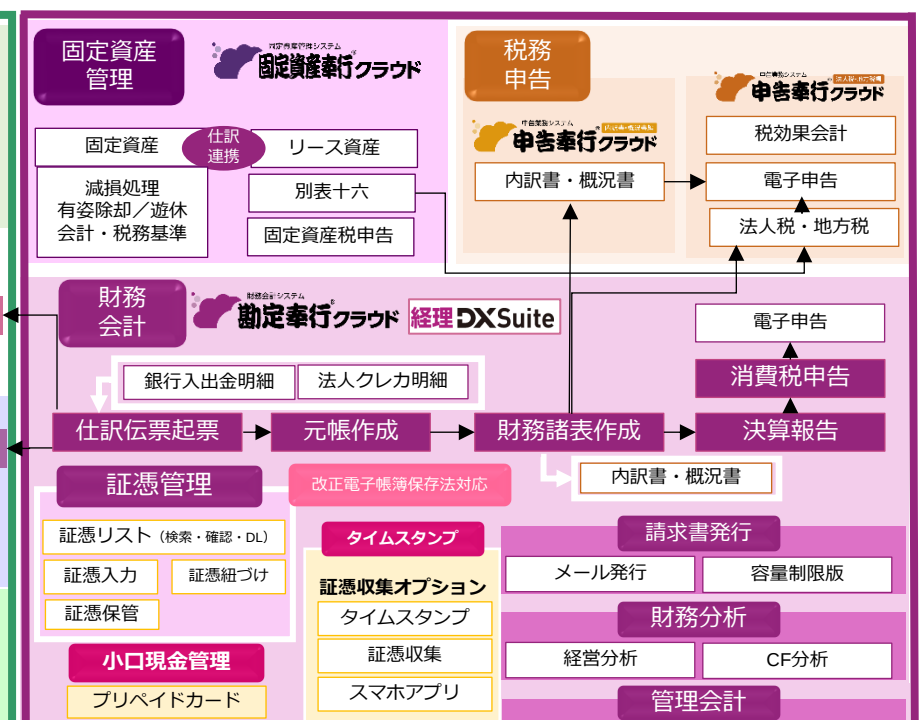
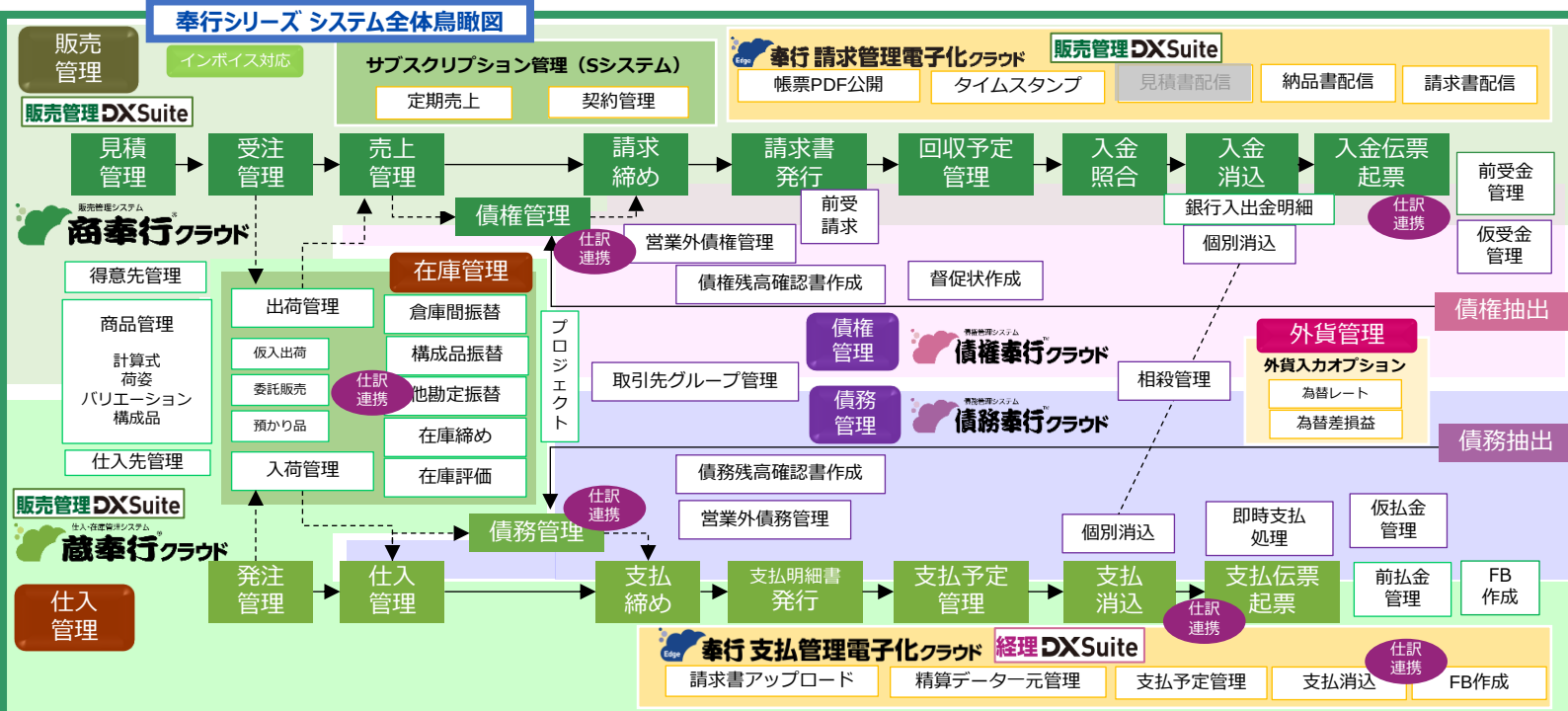
回答や履歴を残したい方向け

オンライン上のマイページからお問い合わせをさせていただくことが可能です。過去のお問い合わせ履歴を遡って確認することができます。

約280席のOBCサポートセンター体制



製品ごとの入電／待ち状況をリアルタイムでセンター内に掲出



奉行クラウドなら、すべての人事労務業務がつながり、デジタル化できます



経営・マネジメントのためのデジタル化

【タレントマネジメント】
企業に必要な
タレントマネジメントの
仕組みをデジタル化



人材情報の見える化

人材分析・育成計画の策定

目標の管理と評価

HR Tech
サービス



従業員のためのデジタル化

【労務管理】
入社から退職までの手続きを
すべてデジタル化



奉行 労務管理電子化クラウド

入社	退職
結婚	離婚
産休	育休
家族異動	転勤
高齢雇用継続給付	住所変更
口座変更	電子申請



総務人事部門のためのデジタル化

【総務・人事・労務】
あらゆる総務・人事・労務業務を
定型化しデジタル化



総務人事奉行クラウド

社員管理	組織管理	人事異動	組織改編	在職証明書等発行
分析レポート	アンケート回収	イベント・スケジュール通知	規程管理	

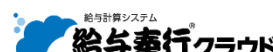
【勤怠管理】
打刻・申請から分析・マネジメントまでの
勤怠管理業務をすべてデジタル化



奉行 勤怠管理クラウド

打刻	申請・承認
勤怠・残業集計	休日・休暇管理

【給与】
給与計算から社会保険・年末調整までの
給与業務をすべてデジタル化



給与奉行クラウド

給与・賞与	社会保険
労働保険	年末調整

【法定調書提出】
支払調書・合計表作成から申告までの
法定調書提出業務をデジタル化



法定調書奉行クラウド

受給者管理	支払調書
法定調書合計表	電子申告

マイナンバー情報

マイナンバー情報

社員情報

受検履歴

明細情報

申告情報

【マイナンバー管理】
企業内すべてのマイナンバー業務をデジタル化



奉行 マイナンバークラウド

収集	保管
利用	削除

【メンタルヘルスケア】
従業員の休職・離職防止の仕組みをデジタル化

メンタルヘルスケア
クラウドNeo

ストレスチェック	セルフケアの促進
メンタル不調者のケア	組織分析

【給与明細配付】
給与業務にかかわる配付業務をデジタル化



奉行 給与明細電子化クラウド

給与明細	賞与明細
源泉徴収票	標準報酬決定通知書

【年末調整】
申告書の配付から給与システム入力までの業務をデジタル化



奉行 年末調整申告書クラウド

配付・説明	記入・提出	回収・催促
確認・差戻し	給与システムへの入力	申告書の保管

取引入力・自動起票



- 仕訳伝票入力
- 証憑電子保管
- 帳票入力
- 承認申請
- 領収書入力
- 銀行入出金明細入力
- キャッシュレス明細入力

- 仕訳伝票予約
- 業務連携

帳票作成・分析・管理会計



- 仕訳帳
- 元帳
- 日計表
- 合計残高試算表
- 勘定科目内訳表
- 集計表
- 推移表
- 対比表
- 予算管理
- 資金繰り
- 部門配賦

決算・消費税申告/納税



- 決算報告書
- 消費税申告書
- 消費税計算書
- 消費税管理資料
- 税理士添付書面
- 電子申告・電子納税

適格請求書発行

請求伝票入力 メール配信

内訳書・概況書作成

法人事業概況説明書／勘定科目内訳明細書

伝票の項目追加

賃借摘要／伝票摘要

経理DXSuite

勘定奉行



支払管理

- 支払予定表
- 支払消込
- 即時支払
- 仮払金・前払金
- 債務残高確認表
- FBデータ作成

債務奉行



入金管理

- 回収予定表
- 入金消込
- 即時入金
- 仮受金・前受金
- 債権残高確認表
- 滞留債権年齢表

債権奉行

個別原価管理

プロジェクト
間接費配賦
労務費配賦

個別原価管理編

建設原価管理

工事管理
間接費配賦
労務費配賦

建設業編

固定資産管理

固定資産管理
リース資産管理
減価償却費計算

資産台帳
償却資産税申告書
別表16

固定資産奉行

法人税・地方税申告

法人税・地方税申告書
予定申告 電子申告・電子納税
税効果会計

申告奉行

内訳書・概況書作成

法人事業概況説明書
勘定科目内訳明細書

申告奉行

拡張
オプション

業務

証憑収集

タイムスタンプ
証憑登録（申請・承認）

証憑収集

文字認識

AI-OCR

奉行
Edge

業務

請求書発行

CSV・PDF受入／オリジナルフォーム

請求伝票入力 メール配信／Web配信

請求管理電子化

請求書受領

請求書の収集・データ化／支払管理の自動化

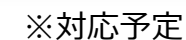
支払管理電子化

経理DXSuite

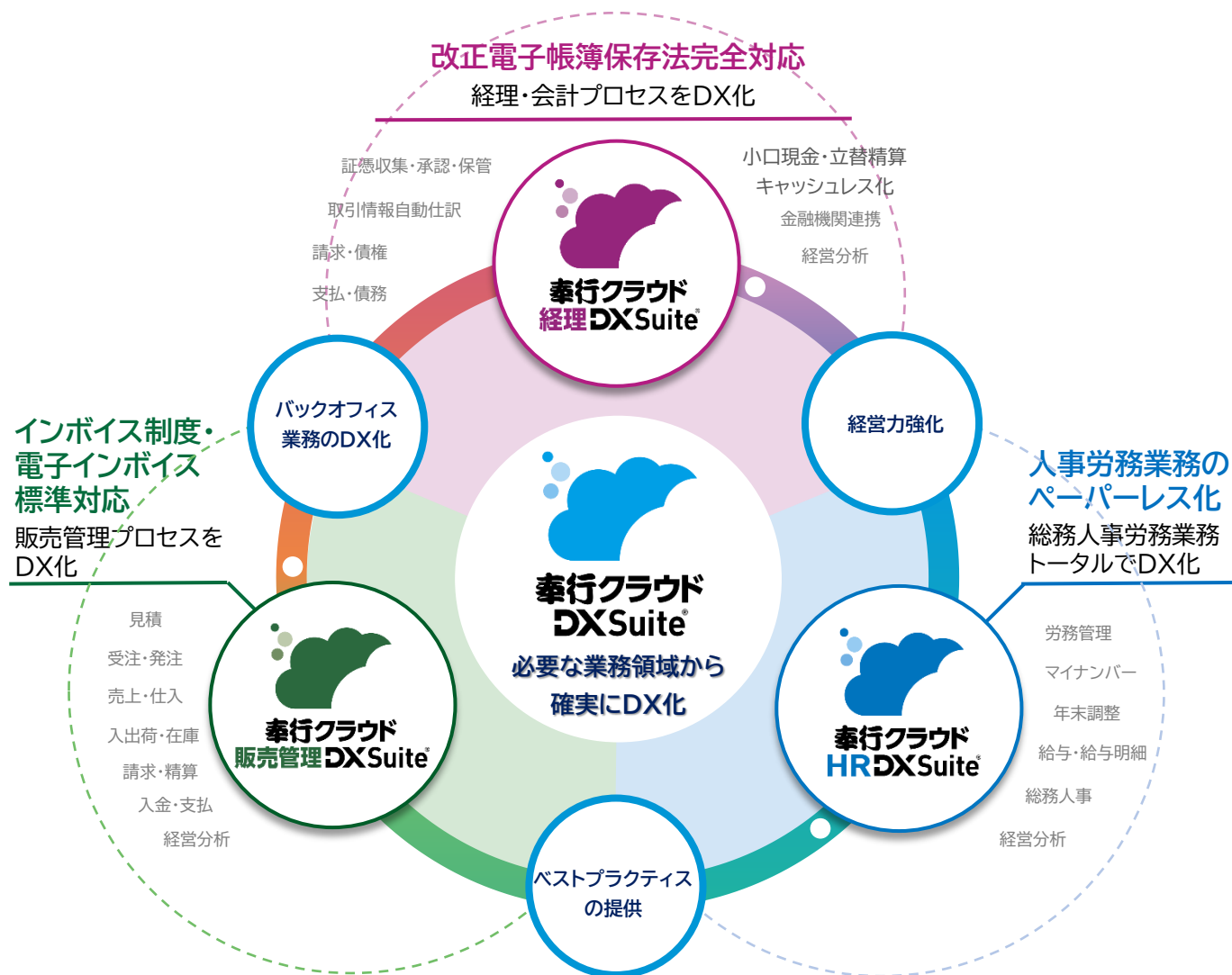
管理会計帳票作成

帳票の自由設計 オリジナルグラフ

オリジナル帳票作成

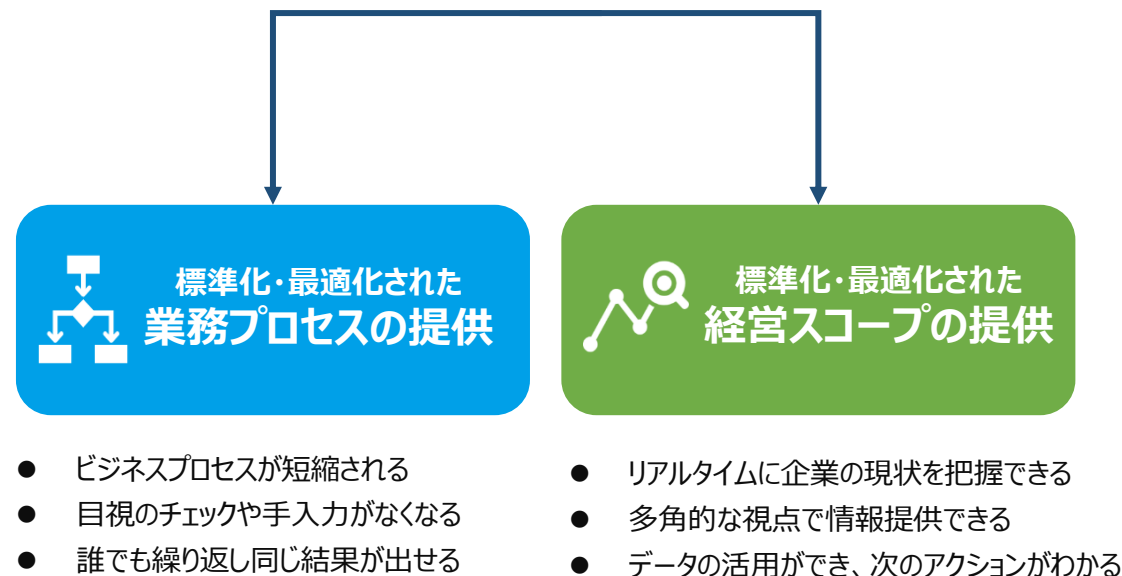


バックオフィス業務のDXで、経営力を強化する「奉行クラウド DX Suite」



奉行クラウド DX Suiteは、業務と経営判断を高度化するためのベストプラクティスによってバックオフィス業務をDX化し、経営力の強化に貢献します。

奉行クラウド DX Suite®
= 時代に整合したベストプラクティスの提供



サステナビリティ

価値創造プロセス

ミッション

業務にイノベーションを お客様に感動を

マテリアリティ

ITによる
イノベーション
の推進

環境に配慮した
事業活動の推進

ダイバーシティ
経営の推進

責任ある
企業活動の実行

経営資本
(インプット)

人的資本

- ・最適なソリューションを届けるための高度なIT人材
- ・0から教育する体制

知的資本

- ・創業時から積み上げたノウハウ
- ・知的財産（特許、実用新案権等）

社会・関係資本

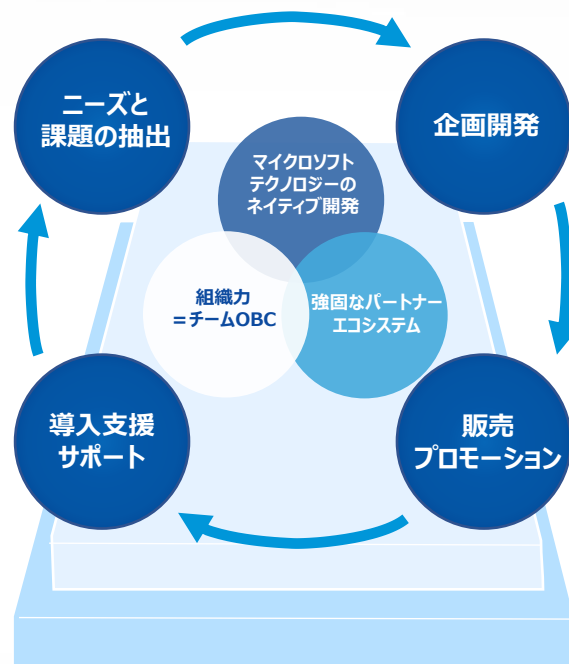
- ・パートナーエコシステム
- ・新しい価値を競争する他社ソリューションとの連携

製造資本

- ・お客様、パートナーを支える国内のサービス拠点
- ・製品開発の内製化
- ・安定系な製品開発を行うための開発体制

財務資本

- ・持続的な価値創出につながる強固な財務基盤



アウトプット



バックオフィス向け
業務サービスによる
生産性向上



従業員向け
業務サービスによる
業務のデジタル化



導入支援サービス
による導入、運用の
支援



サポートサービスにより
お客様の安心安全な
運用を支援



パートナー
エコシステムの強化

提供価値
(アウトカム)



ITによる
イノベーションの推進



労働人口の減少
による人材不足社会に
向けた対応



持続可能な
経済の好循環



従業員が
働き甲斐のある
職場の実現



長期的な
企業価値の向上



クリーンな
地球環境の実現

社会貢献



ステークホルダー

顧客

株主

ビジネスパートナー

地域社会

環境

4つの重要テーマと14のマテリアリティ

重要テーマ	マテリアリティ	行動指針	取り組み	SDGs
ITによる イノベーションの 推進	品質・お客様満足度の向上	高品質を保ち、常にニーズに対応した製品・サービスを提供し続けます	お客様の要望を製品へ反映することによる利便性の向上、営業・開発メンバーによる充実したサポート体制の構築、製品開発の内製化による高品質なサービスの供給	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう
	様々な企業、団体とのパートナーシップ構築による共創	企業の課題解決にパートナーと共に取り組み、共存共栄を目指します	パートナーエコシステムの構築、他企業や諸団体と連携	
	情報セキュリティニーズへの対応	企業が安心してご利用頂けるセキュリティ環境を提供します	マイクロソフトテクノロジーによる世界最高水準のセキュリティの確保 高水準なセキュリティ体制の構築（SOC2® Type2報告書の取得） 情報セキュリティに関する社内教育	
	労働人口減少の解決に貢献する製品・サービスの提供	生産性の向上に寄与する製品・サービスの提供を目指します	業務システム高度化による業務の自動化、クラウドによるリモートアクセス推進による働き方の多様化に対応、APIによる様々な業務サービスとの連携	
ダイバーシティ 経営の推進	従業員の健康と安全の確保	従業員が健康で安全に働ける環境をつくります	胃カメラ・インフルエンザ予防接種費用や婦人科オプション検査費用の会社負担、産業医による健康講話の実施、防災グッズの配布、新型コロナウイルス対策のための在宅勤務・時差出勤ストレスチェックを活用したメンタルヘルスケア	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 10 人や国の不平等をなくそう
	ワークライフバランスの推進	従業員が仕事と家庭の両立を実現し、活躍しながら長く働き続ける環境をつくります	長時間労働の抑制、育休取得の推進、時短勤務期間を小学校6年生まで延長	
	多様な人材の活用を推進	オープンでチャンスがある職場づくりを目指します	男女平等の採用・人事制度、障害者雇用、障がい者に対する定着支援	
	教育・研修活動の充実	従業員の成長をサポートします	スキル研修やマインド研修の定期的な実施、従業員自らが率先して学べる環境の提供	
環境に配慮した事業活動の推進	業務のデジタル化による資源削減の推進	業務をデジタル化することによる紙の削減を目指します	業務をデジタル化できるクラウドサービスの提供、社内業務のデジタル化を推進	13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう
	CO2排出量の低減	オンラインやクラウドサービスの活用により、環境負荷の低減に努めます	リモートデモやリモートサポート、オンラインカンファレンスによるデジタルマーケティング等により移動を低減、クラウドサービスの活用によるサーバー台数の削減	
責任ある 企業活動の 実行	ステークホルダー（顧客、株主、ビジネスパートナー、地域社会、環境）との積極的な対話	ステークホルダーの声を積極的に取り入れるオープン経営に努めます	ホームページ等を通じた適切な情報開示、お客様窓口の設置、社内SNS・各種ツールを利用した情報提供、社内イベントの開催	16 平和と公正をすべての人に
	BCPの推進	災害時に損害を最小限に留めつつ、事業の継続を維持できる体制を構築します	災害対策委員会の設置、災害時対応マニュアルの策定 安否確認サービスの導入、防災訓練の定期的な実施	
	法令遵守	役員・従業員一人ひとりが、法令や社内ルールなどを遵守し高い倫理観に基づいた企業活動を行います	コンプライアンスマニュアル・手引きの作成と徹底（反社会的勢力、下請法、腐敗防止等）、個人情報保護方針（プライバシーポリシー）の遵守、ハラスメント防止ポリシーの設定、コンプライアンスに関する社内教育	
	企業経営のチェック体制の構築	経営における透明性の向上と経営目標の達成に向けた経営監視機能を強化します	内部統制委員会の設置、JSOX（内部監査）の実施、内部通報制度の設置、財務報告の信頼性や情報セキュリティの管理体制の強化（SOC1® Type2、SOC2® Type2報告書の取得）、コーポレートガバナンスコードへの対応	

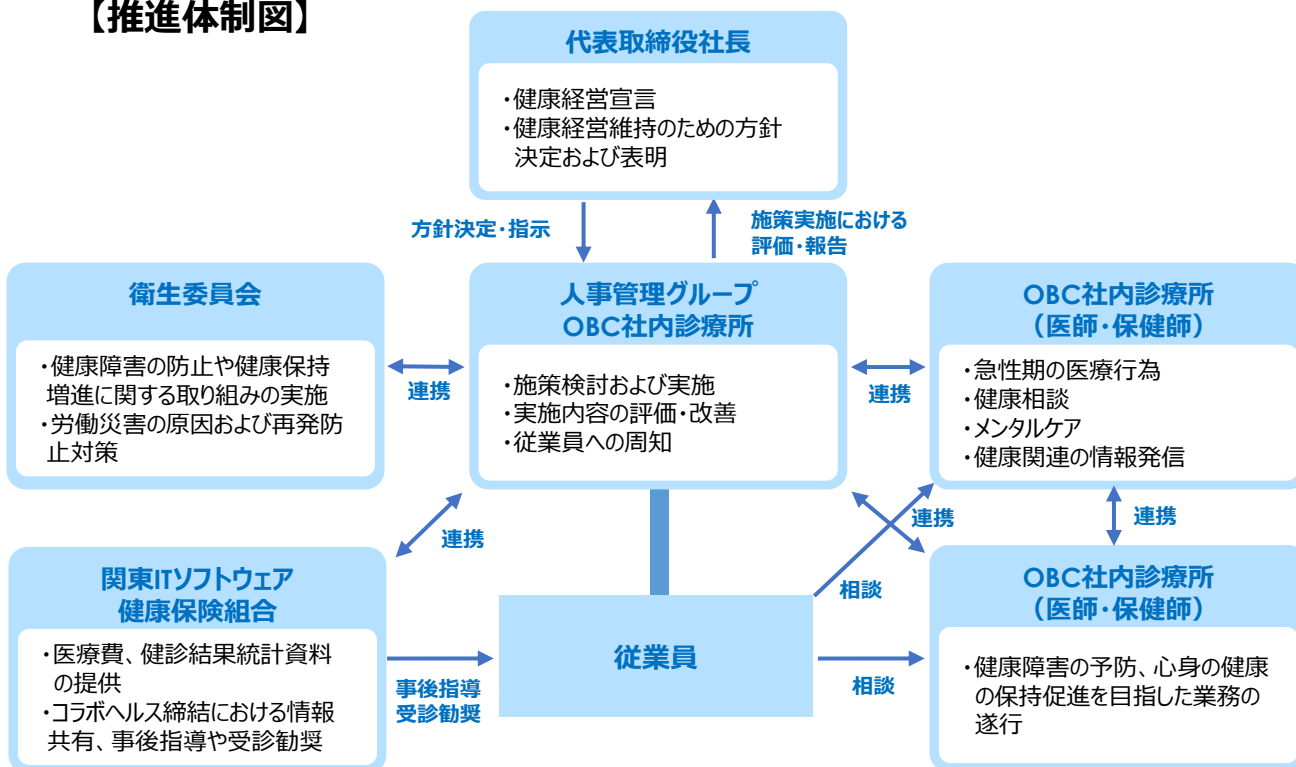
		2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
環境	Scope1 排出量 (t-CO2)	－	7.21	8.32	9.24	集計中
	Scope2 排出量 (t-CO2)	－	881.67	905.74	900.13	集計中
社会	社員数 (名)	898	908	918	941	995
	女性社員比率 (%)	35	36	36	38	38
	採用者数 (名)	77	65	68	90	87
	平均勤続年数 (年)	10.1	11.4	11.8	11.8	11.8
	離職率 (%)	2.2	6.4	6.1	6.3	3.2
	育児休業取得者数 (名)	39	42	58	43	42
	男性従業員の育児休業取得率 (%)	－	－	97	89	114
	育児短時間勤務制度利用者数 (名)	65	78	69	78	78
	年次有給休暇取得率 (%)	53	65	75	81	74
	一人あたり月平均残業時間 (時間)	19.1	18.5	20.4	24.0	24.1
ガバナンス	取締役合計数 (名)	10	9	9	9	9
	社外取締役数 (名)	5	5	5	5	5
	取締役会開催数 (回)	3	7	7	9	※
	社外取締役の取締役会平均出席率 (%)	93	91	97	84	※
	社外監査役の取締役会平均出席率 (%)	100	100	100	100	※
	コンプライアンス研修(eラーニング)受講率 (%)	100	100	100	100	100
	情報セキュリティ教育受講者率 (%)	100	100	100	100	100

健康経営宣言

オービックビジネスコンサルタントは、社員が心身ともに健康で、能力を最大限に発揮することが、企業の発展に繋がると考えます。

この考えのもと、時代の変化に応じた健康増進施策の検討・推進を会社、社員、その家族が一体となって取り組み、オープンでフェアな働きやすい環境づくりを目指します。

【推進体制図】



「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）ホワイト500」の認定を取得



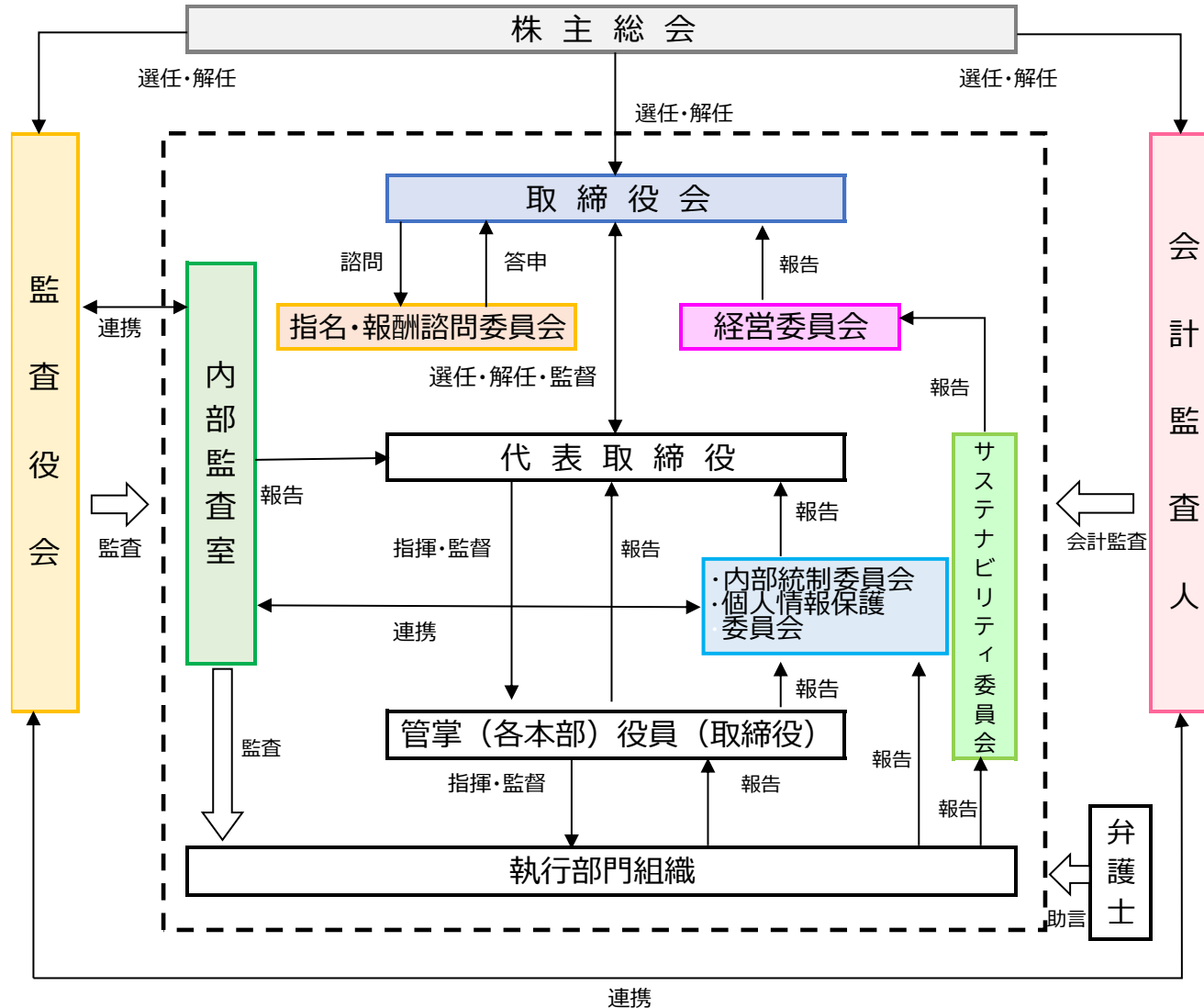
■「OBC社内診療所」と最近の健康経営への取り組みについて

2022年4月に1000人規模の企業では数少ない、医師が常駐する「OBC社内診療所」を開設し、社員に対して安心・安全と健康を提供する存在として、「社員とその家族の健康カウンセラー」、「健康の問題に向き合う診療機関」、「予防・未病への取り組みを行う専門家」の3つのサービスの提供を開始しました。

「OBC社内診療所」は、従来の健康管理室とは異なり、クリニックとしての機能を持つ施設です。また、大学病院の地域医療連携協力機関としても登録されており、これにより緊急時には大学病院への紹介／連携が迅速に行われ、社員ならびそのご家族は高度かつ専門的な治療を受けられる体制となっています。



(企業統治の体制)



株主総会

会社の最高意思決定機関であり、会社法で規定する事項及び定款で定めた事項について決議する。

取締役会

当社の企業価値を高めるための業務執行の決定機関であり、経営監督機関として業務執行機能の監督を行う。

指名・報酬諮問委員会

取締役会からの諮問に応じて、指名及び報酬等に係る事項について審議し、取締役会への答申を行う。

経営委員会

経営に関する基本方針、戦略を討議し、決定するとともに、経営執行に関する重要事項を決定する。

サステナビリティ委員会

サステナビリティに係る取り組みの議論を行う。

監査役会

監査機能を担い、会社の経営方針に則り、監査役監査基準を指針とし、会社経営の目標達成、経営管理の改善・向上に資する監査を実施する。

内部統制委員会・個人情報保護委員会

組織横断的対応かつ継続的な監視を目的として、監査結果を取締役会及び監査役会へ報告する。

内部監査室

社内の会計監査、業務監査、業務の改善提案を行うとともに、監査結果を監査役会へ報告を行う。

会計監査人

監査役及び内部監査人は、会計監査人の助言や提言をもとに内部統制の状況等を把握し、監査役会へ報告を行う。

